大正五年四月二十二日　THE KEIJO NIPPO　第三千九十五號　(一)
(明治卅九年八月十日第三種郵便物認可)

京城日報

廿一日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金六拾錢　三ヶ月金壹圓七拾錢（郵送料前金）　▲郵券代用一割增
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲一行は二十二字詰
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　巻口政太郎
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯　營業

米獨國交斷絶保し難し

米國の發したる對獨最後通牒の結果兩國の外交關係斷絶は保し難きも軍事行動に出でゝ干戈を動かす事なかるべし(東京電報)

支那電信全部不通

支那陸上電信全部及び上海芝罘間海底電信とも十九日以來不通となれり(東京電報)

征南不可能

北京政府は財政逼迫し米支借款亦不成立に終りたる結果今や南軍討伐全く不可能となれり(東京電報)

即墨襲撃說

人心不穩の裡にある山東省方面にては革命黨勞山灣より上陸し即墨を襲撃すべしとの諸說頻りにして地方住民は續々青島に避難しつゝありと(東京電報)

山東採鐵著手

山東鐵山經營費は本年度豫算に計上し居らざるを以て當局にては陸軍々事費を以て之を支辨する事とし同鐵山の採掘に著手せり(東京電報)

陸軍飛行卒業不成績

所澤陸軍飛行隊に於ける卒業飛行は全く不成績に終れり(東京電報)

新博士廿九名

文部省にては大學總長教授會推薦者二十九名に對し博士號を授與する事に決定せりと(東京電報)

奉天の中立的獨立　東三省總て獨立すべし

奉天省の形勢が第二十七師長張作霖氏の態度一變と共に漸次逼迫し來れることは屢報の如くなるが奉天上將軍兼巡按使段芝貴氏の慰撫鎭壓も其効を奏せず張將軍の態度益々強硬を加ふると共に第二十八師長馮麟閣氏も南支の形勢重大となり北京政府の威信既に全く失墜せる今日その態度を曖昧にするは將來の爲に不可なりとの意見にて等しく強硬なる態度を示せるより袁總統の爲に飽まで忠勤を擢でんと欲したる段將軍も爾茲に至りては最早や施すべき手段なきを悟り此旨北京政府に急報すると同時に十七日張馮兩師長呉馬兩鎭守使等を將軍公署に集めて最後の會議を開きたる結果段將軍は上將軍兼巡按使としての事務を張師團長に引繼ぎ張師團長をして之を代理せしむる事とし自身は家族及び近親者を携へ二十日頃奉天出發北京に向ふことに決したり一說には北京より天津に入り袁總統と共に他に亡命するに至らんとも傳へらる段將軍奉天を去るの後は奉天省は江西省の例に倣ひ中立的獨立を宣言するに至るべし奉天省にして獨立せば吉林、黑龍江兩省も相次で獨立を宣言すべく東三省全部獨立を宣言するも近き事ならん段將軍より軍民一切の事務を引繼たる張師長は意氣頗る昂り十八日午後上將軍兼巡按使代理として此旨各國領事に通告すると同時に管內一般に布告を發し治安秩序を維持する旨を聲明せり猶ほ政務廳長には袁金凱氏、交涉所長には于沖漢氏就任すべし●中立的獨立宣言後の東三省が奉天省を中心として今後如何なる態度に出づべきかは滿蒙に深き關係を有する帝國の甚大なる注意を要する所なり(十九日大連發)

奉天官場動く

段上將軍奉天を去り張作霖之れに代りしに伴ひ奉天の各官衙には十八日來大更迭行はれ居れり即ち政務廳は廳長金世和辭職に付同廳內務課長潘榭深張作霖の命を受けて臨時代理となり正式廳長には袁金鎧衆望最も高きも張は自巳の顧問たる前交涉員于冲漢を以て之れに充てん事を希望せる模樣にて急に北京より呼戻せり財政廳長は前遼瀋道尹王維宙十九日就任せり全省警務處長は多分宋省城警察廳長の兼任となるべく交涉局長は現副局長金息侯陞任すべし東三省官銀號總辦程昌恒は段將軍が財政運用の便宜より將軍署軍需課員より擢用せる者なれば此際當然辭職すべく後任は巡按使署辦事員劉湛補なるべしと(奉天)

奉天政變と城民

奉天今次の政變は革命宗社兩黨の運動を緩和して地方の安寧を計る事を一大目的とせる者なるが兩黨共之れに滿足せず毫も既定の方針を變更する意なければ只管平和を渴望して張作霖等を扶け其の野心を遂げしめたる奉天城民は大に失望せざるを得ざるべしと(奉天)

臺灣共進會　朝鮮賣店盛況

▲開會式● 十八日臺北新公園に新設せられたる式場に閑院宮殿下、同妃殿下台臨、開會式を擧げさせられたり、午前十時所定まる、下村會長御前に進みて式辭を朗讀し、殿下親しく令旨を賜はり、安東總督の奉答一木內相の祝辭等あり、式後殿下は第二會場に成らせられ、迎賓館にて茶菓を召させられ更に諸員を從へて第一會場に台臨、各室分館を御巡覽の上、四時三十分御歸館あらせられたり

▲宮殿下 第二會場御退室の際宮殿下は御同乘の妃殿下の御傘の下より朝鮮總督府の休憩室を御覗きあり、御馬車の過ぐるまで凝視あらせられしが、第一會場にては朝鮮總督府出品區內地理模型の前にて下村會長に御言葉あり、朝鮮に御成當時の御追懷あらせたまへる樣拜察す

▲園遊會 午後五時第二會場に於て協贊會の園遊會あり、會する者二千餘名、同會の希望により朝鮮總督府休憩室を開放して重なる來會者を招待したり

▲入場者 十七日までの入場者は各會場を通じて十五萬二千六百餘名を算し朝鮮の賣店は昨日までの賣上高累計約四百圓、井上人蔘店亦二百三十圓を數ふ一般賣店の不景氣なるに拘らず右の賣上を見たるは當地に於て商品として相當の價値あるものか、就中麻の加工品は最も人の注意を惹きつゝあり▲當地昨今の氣溫は九十三度、晴天打ち續きて新綠いと濃かなり、市內各商店は宮殿下の御渡臺開會を機として聯合賣出しを開始し、市中は緊張したる光景に滿されたり(總督府承認電)

總督邸園遊會　龍山官邸に變更

寺內總督は二十二日午後二時より軍司令部將校並に新舊師團將校同相當官全部、警務總監部各課長以上、總督府各部長官局長、所屬官署長官其他四百餘名を官邸に招待、園遊會を開催の筈なるは既報の如くなるが當日の會場は都合により龍山官邸に變更されたり

獻木發送期

朝鮮總督府より明治神宮へ奉獻す可き十七種の朝鮮特產樹木は釜山及び京城兩所に於て假植の事に決し釜山は十九日假植地の清祓式を行ひ京城は二十二日清祓式擧行の筈なるは既報の通りなるが其獻木は式の終了次第梱裁し灌木は明年三四月の頃發送す可く其他は明年秋季まで栽培の上發送す可しと

地方豫算決定

當局に於て詮議中なりし大正五年度地方費豫算案は總督の決裁を經て二十日全部の決定を見たり、本年度は各道共何等の削減なく無事原案を通過せりと

新聯隊旗の通過

二十日午後入港對馬丸にて新聯隊旗步七三、大西四郎(羅南)步七四、山出保(咸興)步七八、竹內安守(龍山)騎二七、平井卯輔(龍山)步八〇、山下五郎(大邱)步七九、細木繁(大田)步七七、赤城茂三(平壤)各旗手之を捧持し釜山上陸午後十一時發北行列車にて其れ〴〵各聯隊所在地へ向け出發したり(釜山)

高橋總督附武官

新任總督附武官高橋砲兵大佐は二十日午後連絡船對馬丸にて著發途中大邱に下車し前任白井少將に事務引繼の爲め會合なし二十二日午前京城著任の都合なりと

經理官講話會

駐劄軍經理部に於ては去十八日より各部隊の經理官を召集し井出經理部長統裁の下に會議開催中なるが二十日は講話會を催し午前九時より左の講話を命じ午後四時半終了したり

經理動務に關する講話
▲朝鮮に於ける牧草試驗概況に就て　講話者　陸軍三等主計　生駒竹之助
▲最近改正の陸軍經理關係諸法規に就て　講話者　陸軍二等主計　矢野敬重
▲大正三、四年戰役に於ける國立第十八師團の經理動務に就て　講話者　陸軍一等主計　木崎求雄
▲寬甸子に於ける臨時兵站に就て　講話者　陸軍技師　莊[illegible]一
▲式飯盒炊爨法實驗　指導官　陸軍一等主計　弘中[illegible]　實驗者　陸軍一等主計　森悅九郎

定例長官會議

二十一日は定例長官會議當日なるより寺內總督、山縣政務總監、各部長官、局長、所屬官署長官等は午前十時總督府第二會議室に參集、重要政務に付き協議打合ありて正午散會したり

警務部長等の視察

入京中なる齋藤忠南、櫻井忠北、藤谷江原、伊東全北の各警務部長警務總監部の亥角警務官脇野中尉永野警視の諸氏は二十一日永登浦に赴き同地の皮革會社其他を視察したり

□釜山より　三笑生

金泉驛を過ぐる頃より著しく溫暖を覺え、大邱驛にて桃花の滿開せるを見受け申候、薄暮釜山著出航迄の三十分を利用して我支局を訪問仕候、今日は釜山地方法院にて例の釜山の艷事件たる萩野釜山銀行頭取對某藝者の私生兒認知養育料請求事件及び前の侍從院副卿宋臺觀の詐欺事件の公判あり宋臺觀の公判の如きは遠く蔚山地方よりの傍聽者數百名に上り釜山法院開設以來の盛況を呈したる由に候、艷事件は檢事局の活動にて裏面に曰くある事を發見し却下されたる由に候、此事件は大に釜山の紳士連を警醒し花柳界も多大の打擊を蒙れる模樣に候(十八日夕)

露大使出發期

前駐日露國大使ニコラス、マレスキー、マレウキツチ氏は三十日東京出發朝鮮經由歸國の筈なり、京城通過は五月二日の豫定なるも入京するや否やは未だ確定せず

日支露運輸會議

既報の如く五月一日より京城に開會せらるゝ日支滿鐵道連絡運輸會議の準備は鐵道局にて既に萬事終了したる由なるが會場は朝鮮ホテルと決定し一日より九日迄の開期を終れば一行は金剛山觀覽を爲すべく寺內總督より招待宴もある豫定なりと

會議所役員會決議

京城商業會議所にては廿日午後二時半より役員會を開き工業奬勵懸賞募集及び其他二件に就て打合を爲したるが懸賞募集の件に關しては本紙既報の通り原案を可決し課金怠納者に對しては其々督促を爲したる上極力集金を行ひ又商工金融機關の諸問案に就ては本月末迄に會議所の意見を綜合して總督府に報告することゝし四時散會したり

赤字特別社員推薦

左記諸氏は多年社業に盡力し其の功勞顯著なるを以て今般本社より特別社員に推薦されたり

咸興支部副長　園部親信
京城支部副長　有賀光豐
同　事務員　藤澤亮[illegible]
同　事務員　馬場[illegible]
義州支部副長　秦秀治

鐵道長官歸期

日滿連絡會議列席の爲め東上中なる大屋鐵道局長官以下鮮鐵側委員一同は二十五六日迄開會の同會議終了と同時に遲くも二十七八日東京發歸任の筈なりと

臺灣遞信視察

遞信局監理課長島田志郎氏は臺灣に於ける通信事業狀況視察の爲め來る廿七日京城發門司より笠戶丸にて渡臺の筈なるが臺灣にては約二週間を費し南北各地を踏査の上五月下旬歸鮮の筈

海底電線の復舊

昨年來不通となりゐたる釜山下の關間の海底電信線一線は最近遞信省修理船其の復舊に努め結果十九日全通せし旨遞信局に通達あり以上を以て內鮮間連絡電信は全部無故障となれり

櫻丸の廻航期

關釜連絡船弘濟丸の交代船櫻丸は廿三日鐵道院船舶係長服部寬司氏同船受取の爲め長崎に出張廿五日頃下關に廻航本月中には關釜連絡に從事すべしと

鮮滿直通車遲延

鮮滿直通列車は東清線待合せの爲め長春驛を二時間十二分遲發したるが同列車は一等客非常に多數にて爲めに一等車を一輛增結したりと

第六寶安丸事件

朝鮮海事審判に附せられし鎭南浦中村組汽船第六寶安丸船長に對する汽船損傷事件は二十日缺席の儘免狀を一箇月間褫奪する旨の判決あり其旨直ちに本人に通達し其の執行をなす由

●遞信局傭人大運動會　遞信局の傭人給仕小使等の一團百二十名は二十三日の日曜奬忠壇に於て春季大運動會を開く由

鎭南浦

▲商工學校設立認可● 鎭南浦中村精七郎氏寄附に係る商工學校設置の件は三月卅一日付を以て認可せられたるが商業科は鎭南浦公立普通學校に併置しありたる簡易商業學校生徒を繼承し工業部は校長及び工業科擔任教員の著任を待ちて開始すべく五月一日までに內鮮人生徒二十五名を募集すべしと校舍は目下寄附者に於て設計中なるが本年九月迄に竣工せしむべく右建築に至るまで舊鎭南浦理事廳舍を充用すべきことに決定せり

清州

▲長官送別宴● 鈴木前長官の送別宴遊會は十五日午後一時より忠北道廳構內に於て催ふされたり會するもの二百五十餘名にして近來になき盛會なりし▲長官赴任● 鈴木慶北道長官は家財取纏め十七日午前九時官民多數の見送を受け清州發芙江を經由して大邱に向ひたるが在任中特に厚誼を受けし人々は芙江迄見送りて別れを惜みたり▲僉參與官赴任● 忠北より京畿道に榮轉の僉參與官は十九日午後四時半發折柄降り荐る霖雨中も厭はず鳥致院經由赴任の途に就く見送り盛なりき▲柳長官披露● 柳忠北道長官は二十日午後四時より清州各官衙職員學校組合役員在鄉軍人赤十字社愛國婦人會員各宗教布教師外人各所總代道參事郡參事清州郡各面長外鮮人有力家新聞記者等二百五十餘名を道廳構內に招待して新任披露の宴を催したり

□門司より　三笑生

四月二十日一筆啓上、海上平穩午前八時門司上陸仕候何時來ても爽快を覺ゆるは關門の景色に候、此地は櫻花の最盛、八重櫻は二三日後が最盛りたるべし、連絡船は込合候事と豫想候處二等の如き半空席にて有之候、斯かる事は近頃稀なりと船員は語り居り候、九時四十分發にて向熊可仕候　不一

公州

▲街道の櫻樹● 公州錦江畔より城內に入る公論、公鳥の二街道兩側に植栽せる數百の櫻樹は昨今の暖氣にて花蕾著しく膨大し南枝已に蕾を破り沿岸楊柳の新綠と共に數日ならずして艷を競はんとす實に道內第一の櫻の名所たり▲道長官々舍● 客年より工事中の道長官々舍は過般落成を告たれば小原長官は新官舍に移轉せり▲植樹と降雨● 先月より道內の荒廢山野を始め官民及び學校林一般の植樹は最早昨今を以て全部植付完了したる處本月初旬及び昨今の降雨は根付に好適なれば豫期以上の活著成績を擧げ得るならんと當局者は語れり▲種卵配付● 公州郡にては飼鷄種類の改良を計らん爲め本春孵化期より已に數百の改良種卵を郡內に配付し倉岡庶務主任も自ら數集の雛を飼育し範を示し居れり▲植林熱旺盛● 近時忠清南道內の植林熱は著しく發達し來り個人畜圃の設置國有林野の貸付出願等增加し來り農家に於ても從前の如き濫伐は殆ど根絕したるは誠に喜ぶべき現象なりとす是れ一は公州郡に設置せる禿山植林試驗地の成績の良好なると小原長官の七年計畫の緒に就きたるに依る何れにしても植林の旺盛は國家の隆昌を示す事なれば實に喜ぶべき事なりとす

群山

▲鯖延繩漁況● 群山近海に於ける鯖延繩漁場としては於青島附近なるが三月中に於ける從漁成績を聞くに從漁船數十四隻從漁總漁獲高五千三百二十尾價格一千五百九十六圓鰆二千八百尾價格八十四圓從漁日數八日間にして平均一隻の收益百二十圓に相當し前年同月に比較するに魚群の來遊濃厚なりしを以て一隻の漁獲高に約二十圓を增收せりと▲白魚漁況● 群山名物として知られたる錦江の白魚漁況を聞くに本年は氣候の關係上初漁期一週日程遲れたるが從漁船五十隻にして四月一日より十五日迄の漁況成績に依て之を見るに一日一隻の收獲一圓以上四圓迄にして昨年の同期に比し五分の好成績を示し居れるが本年は魚價漁獲共に概して良好なるものゝ如し

北青

▲最近市況● 客月中咸南北青市場に集散したる物資の總額は一萬八千四百五十六圓にして此內重要なるものを列擧すれば生牛二千二百九十頭木綿一千六十四圓麻布一千五百九十二圓金巾五千六百三十九圓土[illegible]二千一百二圓天竺二千九百四十圓綿糸二千二百四十圓等なりとす▲一般物貨は例年の如く米穀類の騰貴に伴ひ稍高値を唱へたると一方漸く農繁期に入りたる等に因り諸產物の出廻り薄らぎ來り隨つて地方購買力の減退せる傾向を生じ市況漸く閑散の氣味を帶びつゝ月を越したるものゝ如し

人事消息

▲松平子爵　入京中の處廿一日朝元山へ
▲高壯吉氏(工學博士)　同上廿日夜門司へ
▲岡村正雄氏(鐵道局營業課釜山出張所長)　廿日入京廿一日夜歸任
▲水間孝明氏(咸北警務部長)　入京中の處二十一日朝歸任
▲浦野光嶽氏(光州警務部長)　同上
▲小川市之丞氏(咸興警務部長)　同上
▲伊藤廉氏(陸軍步兵少佐)　二十一日朝入京巴城館へ
▲米國副領事(京城駐在)　二十日午後仁川へ
▲英國副領事(京城駐在)　二十日午後仁川へ
▲吉川岩喜氏(平壤鑛業所技師)　二十日夜入京山本旅館へ
▲岡正矣氏(京城電氣會社專務)　二十日仁川より歸京
▲入江海平氏(理財課長)　兩三日中に大阪及東京へ出張
▲疋田長鑿氏(土木課技師)　廿日大分市へ出張

飛鳥山觀櫻　在東京　忍齋
曳杖昨尋墨水春
攜兒今上忍湖濱
花開花落吾將老
多感看花有幾人

社告

今般本社市內配達區域變更中に付萬一配達漏れ又は遲延の向も有之候時は社內販賣部(電話六六〇番)宛直ちに御通告被成下度候

四月二十日　合資會社京城日報社　販賣部

懸賞答案募集

問題　家庭工業實施方案

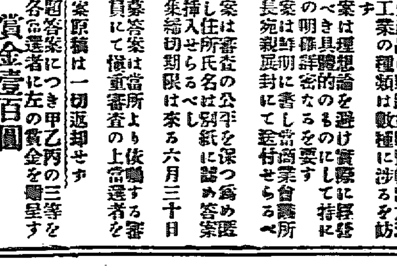
應募規程

一、答案は左の各項を基礎とすること
イ、京城に於ける內鮮人無職業者の勞力を利用し各家庭に於て直ちに著手實行し得べき最も有利なる工業の種類、經營、管理、資本、收支計算、生產額
ロ、各種工業に要する原料は朝鮮產を主とし最も有利なる原料購入の方法
ハ、生產品の販路並販賣方法
ニ、工業の種類は數種に涉るを妨げず
二、答案は理想論を避け實際に適し得べき具體的のものにして數字の明確詳密なるを要す
三、答案は半紙判に書し當商業會議所長宛親展封にて送付せらるべし
四、答案は審査の公平を保つ爲め匿名とし住所氏名は別紙に認め答案中に挿入せらるべし
五、募集締切期限は來る六月三十日とす
六、應募答案は當所より依囑する審査委員にて慎重審査の上當選者を定む
七、答案原稿は一切返却せず

前記問題答案につき甲乙丙の三等を選出し各當選者に左の賞金を贈呈す
(甲)賞金壹百圓
(乙)賞金參拾圓
(丙)賞金貳拾圓

大正五年四月二十日
京城商業會議所

大邱軍威義城安東間　定期乘合郵便馬車
小荷物速達、代金引換　小荷物、物品委託購入荷馬車業開始
安東邑內　郵便馬車營業所
錦町　電話五一八　主任　國井定次郎　大邱營業所


(端午節飾付)
此一揃でお節句が出來升、陶製は永年蟲蝕が有ません(高サ壹尺三寸)(地方發送)
五月節句　金貳圓
兜飾　鍾馗　花生け　造花　柏餅臺
一箇　一箇　一本　一箇
東京新橋　三須
▲三須好意匠品

(參圓の景品)
三須好の珍陶器を毎月配達致升、一年を兼た趣向が有升から貴方と興味を成升(送料卅錢)配送品は悉く實用品
東京新橋　三須
愛陶會(セトモノ會)
月掛會費(金壹圓)

製材機械原動機　其他一切付丸鋸共
賃貸又は割安賣却
鑛山機械專門製作
南大門通五丁目電話一〇四番
中根商會

●寢首を掻切る　平南安州郡

…び飛行當時の模樣を聞くに一昨年の…月に被害者方に一泊を乞ひ何氣なく…つて打ちかゝりたるを乙にも…[illegible]

春の牡丹臺

讃美すべきかな山と水と森林と藝術的古建築物と

讃美すべきかな平壤の春　其處には天然の風光と數多賞すべき美術と低徊去り難き上代の歴史的遺跡と近世の戰跡とがあつた其れらが皆た温かなる光に浮び出で丶古都の春を飾つて居る

＝其風景も多種多樣＝

であつて決して平凡なる自然の陳列ではない錦繍山を中心として牡丹臺乙密臺、箱な爾れて大聖山酒岩山等の巒巒の並なら丶清流壁の斷崖の奇晴等の山岳の美と相俟つて大同江の水は綾羅、羊角等の島を巡り岸の柳の緑を浸たして永遠に悠々と流れ江上には幾多の遊船、畫舫なぞが浮んで居る。大同門、練光亭、浮碧樓、乙密臺、七星門、箕子廟、普通門等が諧映に値する美術的古建築が其の間に散布し箕子陵の森林、乙密臺及び七星門の間の密林等此の山水に向つて一種

＝幽玄の風韻を添へ＝

て居る之ればかりではなく錦繍山上から望むと大同江東及び普通江外の平野遠く連りて野末の煙霞に點々たる遠山を見る雄大の景趣もある猶こればかりではない水濠、山上到る處腕車を驅り自動車を乗り廻はすの便利が有る電話も通ずれば水道も來て居る新鮮な魚肉も美酒も容易に得らる丶朝鮮半島には他に比類のない遊覽地である私が平壤に春を尋ねた十七日

＝其の日は恰度春雨＝

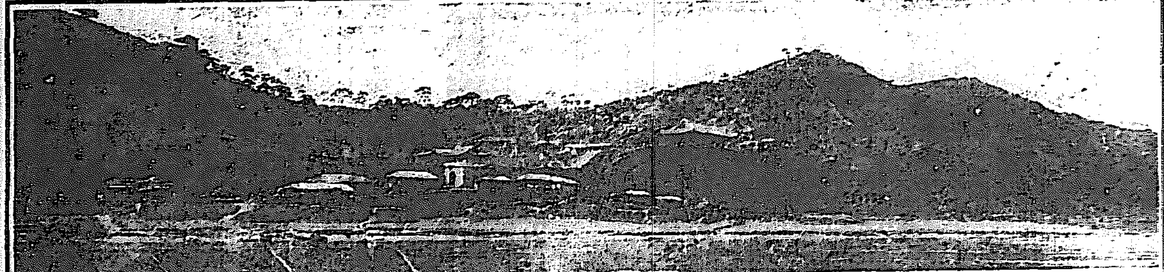
の日であつた道を柳の並ぶ江畔に取つたのは曙の光の大同江に浮ぶ麗絶なる朝景色を見んが爲めであつた大同門は昨年修繕を爲たので所々新らしい憾みは有るが巍然として江に面し明方の光は漸く水に漾ふて對岸の森は二十七八年の役に大島旅團の苦戰をした

＝船橋里である大同門＝

に隣接した練光亭に上ると雨の江上に模糊として牡丹臺一圓の山々が黒く濃く浮び出して居る練光亭は浮碧樓と同じく平壤古建築の粹である丹塗りの廊に春雨が降りかゝる趣きは亦格別である練光とは綾羅の糸を亂した樣であらうけれど練光とは月に因んだ名に音も無く降る春雨にも又相應はしい名では有るまいか小西行長に侍して其の寢首を掻うと企んだ

＝女丈夫の妓生が身＝

を亭から投て死んだと云ふ亭北の崖下を覗いて見ると雨にぬれてほのかなれども若葉萌えて其處に名知らぬ薄紫の花が咲いて居る樣子である練光亭を出て朝天石だの兵營の跡だのを見ながら北に進んで清流壁下の道に這入る清流壁は大同江に臨む錦繍山の一斷面であつて高さ五六百尺の岩壁十四五町に續いて其の盡きる處に牡丹臺が在る右方は江を隔つて綾羅島に蔽はれた



牡丹臺

＝綾羅島が鏡の如う＝

に靜かに江に映つて山から島に架けた渡月橋は虹の樣に少しも自然の風致を損して居らぬ綾羅門を這入つて十數階の高い石段を登ると浮碧樓の前の斷崖に出る浮碧樓は凡一千百年前の建築である浮碧樓の名は高麗睿宗の名付けたものだと云ふ其の建築風が頗る大まかである廣大な建物は四方吹抜きで下には

＝磨ぬ大理石の敷石＝

が横吹く雨に濡れて居る櫻は其の名の如く江の岩鼻に臨んで雨におぼろなれども岩壁に咲く連翹の黄と共に丹梁畫柱さかさまに淵の碧に浮んで居る浮碧樓の前には昔の舞殿が有る妓生が晴れの一曲に千萬の民は營血を絞らせたであらう今は徒らに礎石が朽ちて僅かに殘る壁畫の丹碧を淋しく雨が洗つて居る

＝舞殿の東北に麒麟窟＝

と云ふ抗道が在る城外の江中朝天石に通じて居ると云ひ樣々奇異なる傳説が殘つて居る抗道は昔時城外への拔路であつたらう今は遽な昭設して春草離々と生え繁て居るそこから白楊樹の立並ぶ畑を通つて永明寺に詣づる春は此の邉りにも深く黄なる蓮が咲き香つて居る永明寺と浮碧樓との間に風流なる建築は虛子の朝鮮で有名に爲つた

＝お牧の茶屋である＝

斯んな雨の日には誰も來やしまいと思つて悠つくり寢て居たのです―とお牧さんは何時でも若い顔をして居る其の間に仙人見たいなお牧さんの亭主も起きて來る成程これなら俳人虛子に好かれさうな夫婦である見晴らしの好い座敷で硝子板に描いた畫の樣な滑かな江山島影の景色を眺め乍ら朝飯を喫し更に牡丹臺に登り

＝所謂長城一面洋々水＝

大野東頭點々の山と云ふ雄大なる美景を賞し玄武門の戰跡を弔し乙密臺に登り更に箕子陵に下る陵の西麓には榛木の大森林が有て茶褐色の大きな芽は花の滿開した樣に綺麗である雨は少し歇んで深い霧が森の奥を包んで其の中で山鳩が頻りに鳴き始めた日清戰役の時に日本軍の爲めに水汲みなして足を傷けたと云ふ跛の爺が箕子廟の番人をして居る箕子陵には廟の奥に塚が在るが茲に箕子を埋葬したわけではないと云ふ説が事實であるらしい谷から生れる靄を眺めながら七星門に出で普通門を遠くから望むと

＝古木の柳青玉の如く＝

立ち並んで普通門送客亭の哀歌を思ひ出さしめる更に平壤名物の妓生を聯想しあえかなる怨歌を學ぶ類少き妓生學校を思ひ江畔の柳桃費春秋に優しき妓生の戀や、勇ましい軍語りや物凄く悲しい哀れなローマンスは此の自然をバックとし永い〳〵ライフを有して居る讃美すべきは平壤の春である（緋村生）

●全快近し　山縣公の病狀

山縣公の病狀は漸次快方に向ひ廿一日は午前八時頃より床上に起直り側居の者と元氣好く言葉を交へ體温も三十六度四分となり朝食は牛乳一合と麵麭とを取り平生と異らず宍道主治醫も午前午後の二回見舞たるのみにて殆ど全快同樣なるも唯衰弱と老體なるを案じ成るべく安靜を勸めつゝあり其後經過益々良好なれば氣候に變化を見ざる限りは近日中に全快するならんと（東京特電）

●燦たり新聯隊旗　廿一日龍山著　名譽ある旗手

連翹の花に悲れる二十一日午前八時五十分新聯隊旗は名譽ある旗手の手に護られつゝ龍山驛著急行列車を離るれば豫てプラットフォームに整列して出迎へたる井口軍司令官、橋本第十九師團長

■立花第十九師團長を初め第十九師團管下の將校は素より軍司令部、第九師團司令部所屬將校在郷軍人官民有志多數は一齊に此光彩限り無き新聯隊旗に敬意を表す軍旗は第七十三、第七十四、第七十七、第七十八の各歩兵聯隊及び第二十七騎兵聯隊の五旒にして總て七重八重に包裝せられ最上を油紙にて包みたるを各旗手により捧持せられたるが唯第七十八聯隊旗のみは龍山を衛戍地とする關係より包を解き名譽ある旗手竹内少尉捧持したれば特に衆目を惹きしが打ち仰ぐ處

■眞新らしき眞紅の旭日燦々として紫雲にも似通ふ濃紫の總房に包圍せられたるあたり殊に壯嚴を極め凛として觀者の頭に迫るものあるかに映え渡るは此新軍旗にも含まれし偉大なる軍國の魂に魅せらる丶もの歟斯くて軍旗は武裝せる軍旗護衛中隊に守られ瀏喨として響き渡る喇叭の曲に其光を放つかの如く莊な手として第七十八聯隊本部に向ひたり

新聯隊旗龍山到著

●森代議士無罪

奈良縣選出代議士森正氏(同志)に係る選擧違反事件は廿一日無罪の判決ありたり（大阪特電）

●二百貫の大石に押潰さる　重石の盜掘中

京畿道水原郡陰德面茂松里韓在善弟韓順奉(二七)は十五日午前十時頃同里の神靈山にて重石を盜掘中上方より約二百貫位の大石俄然崩落したるため其の下敷きとなり背部は粉碎され鼻口より血を吐きて即死を遂げたり急報に接し水原署員出張檢視の上屍體は實兄に引渡せり

●豪雨被害　公州への交通一時杜絶す

▲錦江の增水　十九日來の豪雨の爲め錦江出水し公州地方に於ては二十日午後二時一丈二尺五寸に達し錦江橋桁上約二尺餘浸水し目下渡船二隻にて各五名の人夫を乘込ませ辛じて交通の連絡を取り居れり

▲自動車不通　忠南公州鳥致院間は道路破損の箇所あり自動車不通となりしも二十一日には開通せり

▲暗橋破壞す　九日十日の豪雨の爲め忠南清州鳥致院間の道路暗橋破壞し諸車の交通杜絶したるも二十日夕刻より開通せり

●新案犬の皮風呂　呆れ返つた迷信沙汰

平安南道中和郡は今春來痲疹盛んに流行し死亡するもの頗る多きため近來種々の迷信行はれ其中にも中和郡東頭面地方に於ては畜犬の皮を煮出し其汁を以て沐浴せば治癒すべしとて大釜の中に犬の皮汁を煮立て丶入浴するもの多數あり又同郡破邑面地方に於ては足部に種痘すれば痲疹に罹らずとて巡査駐在所に來り下肢に種痘を乞ふものあるより警察官も呆れ返り何れも其不心得を諭し居れり（平壤）

●怪しい祈禱師

京城苑南洞無職洪鍾翊(三八)は同洞曹正化二男文福(八)が病氣に罹り居るに乘じ四月十三日より翌日午後十一時頃迄自宅に留め置き怪しき祈禱をなし居れることを巡回中の鍾路署の警官に發見され同署に於て拘留處分となりたり

●狂犬を撲殺す

京城黄金町三丁目清水某の飼犬は二十日午前八時頃同家の妻女に咬傷を負はせたるより係醫の檢診の結果狂犬病に罹り居ること確定し即時撲殺せり

●女を奪つた曲者

忠北槐山郡廿忽面鯉潭里金永純(三六)同道忠州郡邑内面嘉州里金永奎(四八)の兩名は婦女を强奪したる爲公州地方法院にて各懲役一年宛の判決となりたるを不服とし京城覆審法院に控訴したり

●猩紅熱

京城本町三丁目土井榮三郎(五)は十九日發病二十日午後七時頃診斷の結果猩紅熱と判明し入院加療中

●軍旗と特別列車

十八日宮中に於て新設第十九師團軍旗親授式行はせられたるが之れが輸送の爲め京釜鐵道院にては特に同日午後十一時東京驛發列車に一二等車を增結し軍旗及び其の捧持者を搭乘下關まで直行せしめたり

●檜垣夫人送別會

愛國婦人會朝鮮本部にては二十日午後二時より同會役員として多年會務に盡力したる前京畿道長官檜垣直右夫人まさ子夫人の爲京城ホテルに招待送別會を開けり佐々木、森安、村上、金谷、柴尾、横井、三木、檜垣、石塚、國分、兒玉、芳賀、松寺、山口等の各夫人、仁川久水府尹夫人等にして一同記念撮影の後食堂を開き、終つて大橋主幹の送別の辭、まさ子夫人の答辭あり、更に謠曲、長唄、筑前琵琶の餘興ありて六時散會したり

●本能寺の說教

市内舊水洞大本山本能寺布教所にては二十二日午後二時及び午後八時の二回に說教あり演題左の如し

日蓮聖祖小松原法難　如昌督全師

加五里のさくらは茲一週間以内に咲き出すであらう▲此處のさくらが四十種にあまる種類に分れて花の形態や咲く時期に相違のあるのは全く實生の變化によるものだらうがまださくらんぼの味にも樹によつていろ〳〵な相違がある▲朝鮮人は此のさくらんぼを非常に嗜好して毎年競爭の姿で稻垣農場に買ひに來る▲加五里のさくらんぼは内地の櫻桃よりも優れて美味い▲農場の高橋氏は昨年實生の苗を育て丶猶ほさくらの接木も研究中であるがこれが成功すれば加五里さくらとして各地に賣出す事も能きると云ふ▲現に日本のさくらとしては吉野さくらのみが苗木として供給されて居るが此處のさくらも苗木としたら立派なものだらうとのはなし▲兎に角牛耳洞とは峰つゞきの名所でそれに背後の空には北漢山の城壁が聳え前の原には雲雀が鳴く▲川の流れ鳥の囀き蟹牛耳洞にも優つた眺めである▲稻垣農場は今年自由に場内を開放しビール、サイダなどは便宜上原價で差上げる▲團隊のお客は前以て通知すれば辨當も出すとのこと▲また李桃梨なども櫻と前後して一緒に咲く

◆曇り一時晴

守田寶丹

やッぱり

寶丹が一番よい！

時代と共に色々な清涼劑が流行するので迷ふ人もあるが懷中藥としては品質本位の守田寶丹が一番よい

東京下谷區池ノ端仲町　本舖　守田治兵衛　振替東京二九八五番

謹告

弊商會は多年各位の深き御同情と厚き御引立の下に捲煙草製造販賣業に從事致來候處今般都合に依り廢業致し營業の一切を東亞煙草株式會社へ讓渡し申候に付從而弊商會より發賣中の各商標の煙草は東亞煙草會社より販賣せらる丶事となり申候間今後は同社從前の各商標と併せ御愛用賜はり度茲に多年の御厚恩を謝し旁々此段謹告仕候也

京城　廣江商會

小包販賣御案内

御茶銘價略表（百六十目一斤）

明月	金參圓
鶴の影	金貳圓五十錢
濃櫻	金貳圓
翠香蘭	金壹圓五十錢
殘月	金壹圓三十錢
鶴林	金壹圓廿錢
玉英	金壹圓
深草	金八拾錢
福見壽	金六拾錢
宇治山	金五拾錢

■總テ御注文ノ際一斤壹圓貳拾錢以上ノ品ハ多少ニ不拘鑵代無料ニテ詰上申候（但シ以下ハ袋詰ニ有之候）

■振替口座ニテ御注文ノ分ニ限リ特ニ箱代小包料全部負擔仕候

■代金引換ニテ御注文ノ御方ハ……

▲御注文金高金參圓以上小包料全部弊部負擔仕候

▲御注文金高金參圓以下小包料全部ノ半額負擔仕候（木箱代ハ實費申受候）

但シ臺灣滿朝鮮樺太ハ一個ニ付小包料ノ差額貳拾錢宛申受候

山城國宇治木幡　清嘉園　林屋製茶所小包部　振替口座東京九四〇〇　大阪一七八八〇

●取次販賣御希望ノ方ハ御申越次第詳細書進呈仕候

電信雜話
矢野通信課長談

電報取扱ひと缺損

獨逸墺西英國等は電信機關頗る普及してゐるが其の收支の關係を見れば缺損額決して少なくない獨逸國では一箇年の電信收入四千六百三十萬マルクに對し其の支出額五千六百六十一萬マルクに達し差引損失千三十萬マルク（吾が五百十五萬圓）に達してゐる瑞西國では電信收入百八十六萬三千三百圓に對し支出百八十七萬九千圓で之れ亦多少の缺損となつてゐる英國の如きは千九百十三年度に於ては一箇年九百五十七萬圓の損失であつた右三國の外白耳義國の如きも年額二百餘萬圓の缺損があつた此他の諸國でも亦損失あるもの少なからず要するに電信の經營に關しては收入よりも支出額の多大なる國少なからずと雖も電信機關の普及は一國の政治上經濟上並に軍事上等に於て須要缺くべからざるもので其の多少の缺損の如きは止むを得ないのである彼の獨逸軍の强大なるは諸種の理由はあるが同國電信機關の普及せる事も亦其の一因であると云ふて好からう

日本の電報氣送管

歐米では電信局所相互間に於て壓搾空氣の作用に依り電報の送受をなしつゝある者が少なくない此の方法によると頼信紙亦は著信紙の儘で電報を送受するから普通の傳送方法に比べると電文の誤謬を生ずる虞れなきのみならず一時に多數の電報を送受し得るの便宜があり電報を輻輳せしむる如き事はない、此の氣送管は歐米の主要電信局所間には必らず設備がしてある而已ならず一局所內でも窓口と機械室との間に於ける電報送受にも利用せるもの少なからず日本にても東京及び大阪には此の氣送管の設備があり其の延長總里程は四里廿八町に達してゐる但し此の氣送管は近距離の局所間には利便だが長距離間には餘り効果がない

電信技術員の誇り

通信技術者は商工業者の活動の狀況を知り且つ世界に於ける各種の出來事と密接の關係を有つてゐる政治上並に社會上の大事件總選擧に關する狀況等は勿論戰時に於ける各種の報告の如きは總べて電信技術從事者に於て最先に知り得るもので此等の事件の報導は何れも通信技術者の指先でなさるゝものだされば電信技術者の一擧手は公衆の利害休戚に關するもの多大だから其の責任の重且つ大なるものありといふべく亦以て電信技術者の誇りと云てよからう

朝鮮の電信機關

郵便機關は一般的通信機關であるが電信機關なるものは特殊的通信機關とも稱すべきもので大商工業者新聞通信者其他政治上行政上軍事上等の重要事件又は急要事件の爲め使用せらるゝ場合が多い、一私人としては病氣死亡其他旅行發著等の場合の外利用せらるゝ事は少くないけれど此の電報は緊急事件發生の際には重要缺ぐべからざるものだから何れの國でも其の機關の普及に努力してゐる佛蘭西の如きは郵便局所の數一萬四千六百にして二方里三八に對し一局所ある割合だが電信局所の總數は二萬二千四百十六に及び面積一方里五五に對し一局所ある割合である其他獨逸和蘭白耳義の如きも電信局所の普及は郵便機關と大差なき狀態にあり吾が朝鮮の如きも郵便機關の數は五百十五あるに過ぎざるも電信機關は五百九十餘局所を算してゐる右の如く電信機關の普及せるは何れの國でも鐵道停車場に於て公衆電報の取扱ひをなす者多い爲めである

通信機關秘密嚴守

前述の如く電信機關の從事者は諸般の事項を迅速に知り得るが彼等は通信の秘密を絕對に確守するの義務がある若し之れを侵す時は改正電信法に於ては二年以上の懲役又は五百圓の罰金に處せらるゝ獨り通信技術者のみならず其の以外の者も電信官署の取扱中に係る通信の秘密を侵したものは懲役又は罰金の刑を課せらるゝものである通信の秘密なるものは通信官署最重最要のものである英人某の言に入は其の最愛の妻にすら告げざる事項と雖も之れを通信文として通信官署に委託するが如く通信官署を最も親愛にして信賴すべき官署なりと思料すとされば通信官署は通信の秘密を絕對に嚴守すべきは法の命ずる所なるのみならず道德上に於ても公衆最大の信賴に背くべからざるものと云ふてよい（畢）

●新舊師團送迎 宴の前景氣

新設師團の歡迎と歸還師團の送別とを兼ねて二十三日の午後一時から龍山の鐵道公園で官民聯合の大宴會が開かれるとは既報の如くなるが昨今

▲市中の準備は 此爲却々に忙しい龍山は道にお膝元丈に、六百何十圓と云ふ寄附金が瞬間に集まつたそこで愈廿三日の龍山は勿論京城の全市街は旗と提灯とで滿街飾を施され三角通や驛前には綠門の設備もあり折柄綻初めた鐵道公園や

▲桃山邊一帶の 櫻に桃の春景色は一層賑しさを加へることであらう、台場は新龍山電車の終點より左側鐵道官舍內を橫切り約三丁餘にして總督官邸あり其前面の廣場に設けられあり當日若し雨天の場合なれば其附近の鐵道俱樂部に便宜變更する筈である

●二百馬力新飛行機成る

長浦工場にて製作中なりしルノー二百馬力同百四十馬力兩飛行機は此程何れも完成を告げ愈々十八日中島機關大尉監督の下に二百馬力一機を追濱飛行場に引渡せり追濱に於ては直にガソリンを滿載して推進機試運轉を行ひたるに結果良好なるより午後一時半井土大尉試乘したるに成績良好なり尙百四十馬力も兩三日中に追濱に引渡すべしと（橫須賀）

▲樋口武勇傳

大正館が二十一日から若林派に引續き上映する樋口武勇傳は全三卷七十五場の紹介をすると上州輪家の指南番樋口十郎左衛門を殺害する、樋口の忠臣大和田は急に嫡男十三郎に告げようと諸方を探し歩く、十三郎は或る事情から放蕩と見せかけて勘當を受け諸國を武術の修行をして廻り甲府の山の名人瞬畑作翁より秘密を受け江戸に出て一流の武藝者になつた時に大和田の往逆を聞き目出度く父の仇を報ずるといふ筋だ

▲團昇初日の語物 大阪女義

太夫竹本團昇同伊達若の一行は二十日華々しく乘込みたるが二十一日は町廻りをなしたる上其夜より初日を出したるが當夜の語物左の如し▲御祝儀（竹本入登）▲竹本伊達若▲卅三間堂棟由來（竹本伊達若）▲兵衛座敷の段（竹本入登）▲伊達娘戀緋鹿子▲朝顔日記宿屋の段（竹本昇六）▲三勝半七酒屋の段

伊達若 團昇

▲太功記十段目尼ヶ崎の段（竹本伊達若）▲菅原四段目寺子屋の段（竹本團昇）

▲壽座 新派改正義團三島一行二十一日の替り狂言は一番目片男波二番目負うた子三才なり

▲御成座 新派中村榮一行二十一日の替り狂言は一番目壽七福二番目喜劇藝者の心なり

▲浪花館 三遊亭一圓遊一行の落語

▲京城券溫習會 京城券番藝妓の春季舞踊溫習會は來る二十四、二十五の兩日壽座に開催す

▲黃金館 二十二日より新寫眞を差替ふべし其の主なるものは左の如し 實寫歐洲戰亂エクレヤ週報▲喜劇チャの臨東志願▲正劇金の血全四卷▲滑稽劇金看板甚九郎全三卷▲同上赤垣源藏德利の別れ

■カッテージパイ 馬鈴薯を茹でゝ裏漉しなし、十分一のバタを入れて能く練り、牛乳を匂を加へて更に能く練り胡椒で味を付け、牛肉を薄くより少し厚みに切り、胡椒を振りアドを少し切入れて鍋にしてからそれを裏の目に切り、瀬戸引鍋の內部に一面にバタを塗り、前の馬鈴薯を敷き、上に肉を入れ胡椒を適宜にふりかけバタでいためた玉葱を煮汁と共に上にふりかけ中肉を煮焼きにした汁をも掛け、其上に更に前の馬鈴薯を盛ひ天火に入れて焼き邪魔な皿で皿に揃ひ生の菜を飾りにして添へる

商況

東京株式特電
二十日 後場寄付 大引

銘柄	後場寄付	大引
日本郵船		
東京電燈		
鐘紡新		
同		
日本石油		
東洋汽船		
東株新		
東京新		

債券現物特電
二十日東京債券現物（前日との比較）

東洋拓殖	六一、〇〇	
京城電氣		
朝鮮銀行	一四九、五〇	
南滿鐵道		

公債直取引 特電
二十日東京公債（前日との比較）

五分利	九五、五〇	
四分利	八二、三〇	
三分利	八一、三〇	
甲號五分	九四、九〇	

深川在米特電
二十日深川在米 朝鮮米 一二、四〇 一一、九六 地廻米 一一、九一 內地米 一二、〇八

東京期米特電
二十日前場 六月限 寄付 一四、二六 一四、二五 一四、二一 一四、二〇

大阪期米特電
二十一日前場 富限 中限 先限 寄付 一三、六八 一三、九八 一四、四九 止め

大阪株式特電
二十一日 前場寄付 後場寄付 引値

銘柄	前場寄付	後場
宇治川	[illegible]	[illegible]
大阪電燈	[illegible]	[illegible]
南海鐵道	[illegible]	[illegible]
東洋紡	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
阪神	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
東京新	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電
▲二十一日前場 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 寄付 [illegible] 大引 [illegible]

下關期米特電
廿一日前場 小雨大阪の奮中期限の引越しと代り底文の刺戟を受け騰す

雜報

●染料洗滌
染料は元來方外の突飛相場を現出し居れる際とて全く買手無く相場も爲めに稍ずり安を辿り居るもの、如し內地昨今の成行きは一時一封度に付き四十錢見當の沈奔騰したる後エキスの如きは昨今三十錢見當に取引されて居れりされば手持筋は此沈靜に堪へかね外國市場に向つて買ひ出さんとするもの漸々生じ來りたる聯國へ向け元來佛國よりの輸入品たるログートエキスへマチンエキス新規の輸出さるゝもの甚だ多きを加へたりと

●銑鐵類益强硬
銑鐵類は他の鐵類が昨今尙強硬を呈しるに拘らず新規約定は成立困難なる際要は內地工業の隆盛に伴れ日本に需要益々増加の一方なれば到底其需要を充たすを得ず在荷は減少するのみなれば相場は從つて上進一方にて最近銑鐵一噸に付き約一倍の奔騰を來したが目先尙凪なりといふ

●英鐵禁止と人氣
英國の鐵材輸出禁止の發表は本邦鐵材輸入に及ぼす影響大なるも未だ解禁の期あらず今日迄に既に二回に亘る輸出禁止は今回始めてにあらず今後の形勢如何は未詳なり

▲果して解禁か永續か否や ▲疑問なるが成り行きと共に對しては之れ禁止の發表は今後の形勢如何に依り

▲大氣迷ひ 向分看狀の影響の如きは目下迷ひの一端とて日下の所は取引にあるのみなり

●粗布跳返す
粗布界の前途は如く內地相場の漸落に連れ紡績の相場も二十七八圓に下落したるが其後銀塊高に

▲好望な支那輸出 支那輸出は支那方面の商況好轉に伴つて內地相場も一般に引緊り好況を呈せるに至つて前日の相場に比して

▲一擧四五圓高 百三十一圓を唱ふるに至れり

●紡績糸好調
紡績糸は昨來又々人氣好調と變じ相場も引上げ來れるに連れ當地も此處五十錢方引上げの六十四圓を呼ぶに至れり

●新茶大走到著
新茶は前年より一日早く靜岡安西町內野商店より約三十斤の到著を見たるが價格は百斤四百圓見當にて品質も良好なり

▲尙危ぶまるゝ模樣の先行きに付て

下關相場
▲朝鮮白米は不引立にて其後七十八錢見當にて推移し居れり▲小豆は矢張變らず▲大豆は依然强保合なり

京城正米

銘柄	價格
▲朝鮮一等白米（當用）	十三圓四十五
▲同二等白米（當用）	十三圓三十五
▲同	十一圓二十五
▲京畿大豆	九圓八十
▲同黃海道大豆	十圓四十五
▲同	十圓五十
▲元山大豆並上	九圓九十
▲同	九圓四十五

京城雜穀
昨來小豆は依然軟化なり諸穀も又昨今賣進み向ありて好況を呈し居れり

利 仲買店
仁川米豆取引所仲買人 電話九〇五番

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山穀物市場

仁川期米

▲二十一日前場 又々上向く
大阪前場の十四圓四十九錢と昨止まりより寄付十一錢高の入電二節四十六錢と小安く高移り四節五十四錢と沸騰二十一

日 仲買店
仁川米豆取引所仲買人 文一 電話一六三番

市場零聞

▲前場昂騰す
大阪寄付より前場は十一錢高の十四圓四十九錢と

支那利喰賣物 三圓二十錢

沈振大
▲中限活躍す
十一圓十五錢
活躍したる原因
▲保合上岐れ乎
上岐たる感
新高値に昂
▲前場大激戰
大激戰を演出
▲人氣動搖す

仁川米豆取引所
二十一日の六月限

北濱だより
●商船株

▲大土地

演藝案內

櫻井町 大正館 電話八七三 二十一日より特別大寫眞提供

本町 壽座 電話五七八 改正義團二行 四月二十二日藝題

明治町 浪花館 電話二六〇番 大阪女義太夫竹本團昇竹本伊達若合同大一座

壽館 電話一〇五〇町

黃金町 黃金館 電話二六三七

御成座 電話一九一

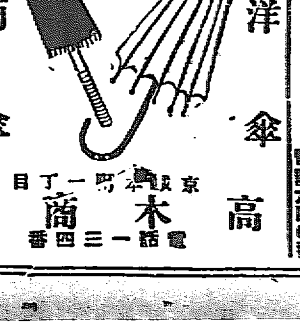
●急告● 大正館

▼舊劇樋口武勇傳 ▼新派悲劇かわかぬ袖 ▼泰西活劇金鑛 特別大寫眞 大正館

太平通大夜市
◎來二十三日夜より開催◎露店希望者は申込あれ
▲どなたでも出店隨意、金のもうけ次第
多田不動產信託所內
太平通二 太平通大夜市事務所 電話一二二

花平 灯平

內科小兒科 皮膚病花柳病 入院隨意 京城日出小學校前 多々見醫院 院主 醫學得業士 多々見五郎 電話九四〇番



東京製鞄 旅行用具一切 防水布外套マント色々 洋傘 雨傘 京城本町一丁目 高木商店 電話一三四番

●防水布雨着 其他雨具一式 ▼見本附定價表進呈
ゴム外套地
東京市京橋區南槇町 防水布雨着問屋 福田豐三郎商店 電話京橋三七九三・京八〇四五

■タングステン高價買入れ仕り候
■重石鑛 十パアセントより七十パアセントまでの品高價現金買仕り候
■優良なる 七十パアセント以上の品は一斤三圓替にて何程にても申受け候
■重石鑛主にして代金前拂御希望の方には鑛夫賃金並に諸費用立替申上候
■弊店は 唯だ重石鑛のみ希望致し候間價額は充分の御相談仕るべく候
京城貞洞二十五番 ジョージ、アーレン商會

人蔘エキスは下記諸病に特効あり御愛用の上精力を增進せられよ
警務許可濟
特効能 [illegible]
定價 金三十五錢 金六十五錢 金一圓二十錢 金二圓

■人蔘製藥 ■人蔘菓子飴 ■細工一切 ■朝鮮土產
開城白蔘尾蔘大販賣
製造發賣元 京城本町二丁目郵便局橫 津村兄弟商會 電話一四〇番

資本金 五百萬圓 頭取 安田善三郎
★ 株式會社 百三十銀行 京城支店 京城本町壹丁目 電話長五八番 振替貯金京城一九四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

宮本武藏

第十五回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

箱根の山中に於て狼のために取卷れた宮本先生、名に負ふ天下の豪傑であるから少しも恐れず正面から來た奴をバッサリ頸を落し、次に居る奴を横に拂つて胴切にする、左から飛付いて來る奴を身を交して矢筈に斬つて落すウオー〳〵と聲を揚げて三四十匹の狼が四方八方から飛付いて來る、狼といふ奴は怜悧なもので能く飛上つて頭の上を飛越す、前脚に砂を掴んで居て、飛越し乍ら頭に砂を打懸る砂が眼に入るから大抵な者は喰はれてしまふ武藏先生は油斷なく、砂を掴んで飛付いて來る奴を右に交し左に交し、右劍左劍を左右に執つてバッタ〳〵と斬つて落す其働きの凄まじさ、狼の方でも 狼『可ねへ〳〵此武士は仲々技倆の勝れた奴だ』といつたかどうだか知らぬが宮本を捨て、今度は駕籠屋の方へ飛付いて往く 男『ヤイ〳〵此畜生、何だつて俺の方へ飛付いて來やアがる、如何に畜生だつて餘まり譯の解らねへ奴だ、俺は今迄一匹だつて手前の仲間を殺した事はねへ、其を俺の方に向つて來やアがつてモー勘辨が出來ねへ、誰だと思ふ三島の三吉だ、俺の技倆を見せてやる』と兩の拳を固めてヤッといふて飛付いて來る狼を張り倒す、右から飛付いて來る狼を足を擧げて蹴飛ばし、左から來る奴を首筋を取摑まへてポカーリ張殺す、宮本は兩刀だが此方は無手だ、前後左右から飛付いて來る狼を捻倒し張倒し、或ひは蹴殺し踏殺し、仲には首と首とを押へてコツーンと鉢合せをして二匹一緒に殺すのもある、さうかと思ふと今度は岩に持つて往つて叩き付けて狼の煎餅を造らへるといふか、其の勢ひに驚ろいて『ソレ逃げろ』といふかどうか殘りの狼は蜘蛛の子を散らすが如く逃げて行く、宮本先生四邊を見廻すと二十五六匹の狼が倒れて居る自分が十二三疋退治たが殘は駕籠屋が退治たのだ兩刀の血を拭つて武藏が 武『どうも駕籠屋其方は天下の豪傑だ、狼を對手にして及ぶ物を用ゐず、兩の拳を以つて張殺すといふのは凡人ではない、定めし何の何某と名ある人物に相違あるまい、苦しからずばどうか姓名を承はりたい 男『イヤー旦那、さう仰しやられると羞恥が惡るい、少しばかり力があるだけで名前なんぞのある人間ではござんせぬ 武『さうでない定めて貴公は天下の豪傑、併し他人の姓名を聞かんとせば、先づ自己の姓名を名乘れといふ、拙者は豐前小倉の城主小笠原右近將監の家來宮本武藏正名といふ者、貴公の姓名は何と申さるゝか』と言つた時に件の男はニツコリ笑つて 男『さては貴方が高名の宮本武藏殿、どうも先刻兩刀を用ゐて狼を退治られたに依つて當時關口刀を遣ふ者は他にないもしや宮本氏ではないかと存じたが一面識もないに依つて失禮をいたした、拙者は實は何を隱さう、紀伊國名草郡和歌山の城主紀州大納言賴宣公の家中關口流の柔術をいたす關口彌太郎義暠と申す者でござる』 承はつた宮本 武『之は〳〵豫て雷名を承知いたして關口先生で在したか、存せぬ事とて最前からの無禮、御容赦に預りたい シテ關口先生と言はれる御人が何んで斯樣な所に駕籠を擔いでお在なさるか何んとも不審の至りでござる』 彌『御道理の仰せでござる之は仔細のある事で先づ其よりも武藏殿には何の御用で今頃旅行をなさる武藝名譽の聞えある御人今更劍道修業といふ譯でもあらつしやるまいが 武『左樣、實は拙者江戸表に於て武道の意氣地に依つて肥後熊本の住人佐々木劍道齋岸柳といふものを討果し、聞けば岸柳の門人三千餘人もあるといふ事、先方より師の敵といつて乘込れては臆病の聞えを取るに依つて當方より熊本へ乘込み三千人の門弟を對手に潔よく斬死をする決心主家浪人いたして熊本へ赴むく途中でござる』 彌『承はつた關口彌太郎、併し貴殿其はどうも容易ならん大事、殊に岸柳といふものを討果したと仰しやるが其は恐らく僞者、眞の岸柳は國表熊本に於て壯健で生活して居る事は拙者委細く存じて居ります』 彌太郎の言葉を聞いて武藏先生ハッと驚いた。

京城明治町　木村屋のパンとキャラメルは山登りせん時は常に行けり　木村屋（電話一八七〇番）

入院隨意（診察夜九時迄）
泌尿器病専門
腎臟病　膀胱病　淋病　梅毒　疳瘡　皮膚病
永樂町二丁目　金光教會隣り
安部醫院　電話四一九番

四月二十三日九星
舊三月廿一日庚寅
本命三碧　宿開　大安

▲三碧● 我儘彼此した事有日 新事見合 坤の方は吉暗劍殺▲四綠● 娛樂の日 轉居開業入學名弘求職案道略縫大なる金融等 皆吉▲五黃● むか腹のたつ事有日 新事手控商事は吉爭を謹まるべし▲六白● 無茶の事有日 新事手控商事發は妨なし▲七赤● 毀を施して却て笑はるゝ事有注意新事手控常の事は吉▲八白● 姉妹の中に心を生ぜんとす 新事手控商事は吉女子は行儀を守らるべし▲九紫● 福祉篤き日 轉居行商 入學名弘家作求職 金談 嫁娶取等 萬吉▲一白● 利を占る日 轉居行商 川漁名弘求職 金件縫紉油非なり 掘る等皆吉▲二黑● 不自然の事有日 新事手控得ば吉術生に注意せらるべし

神秘流催眠術

幸福は何處にありや

大正五年の新春を迎へて諸君の祝福を祈ると併せて此多事多幸なるべき大正五年の新春に於て諸君に幸福の鍵を與へんとす。諸君は現在の境遇で滿足して居らるゝか。月給の增俸を希望し貯金の增加を願ひ家族の安全を乞ひ其他すべてに於て現在よりも更に向上した生活がしたいもつと有福なもつと名譽ある生活をして見たいと思つてゐる。諸君の知人親類等で諸君よりも出世してゐたり或は又の成功談を聞いて、自分も彼の樣に、否彼以上に立身して見たいと思つたことがある。諸君の成功立身幸福の基となるべきものは果して何であるか。而して又何處にあるか。幸福の鍵は今や諸君の來り取るべきを待つてゐる。

神秘流催眠術

諸君の立身、諸君の榮達、諸君の健康、これ等を促進せしむべく茲に神秘流催眠術なるものがある。催眠術とは人を眠らするものであらう人を眠らして立身成功とは不審であると諸君は云ふであらう、而り尤もである。今までの催眠術は種々なる口實のもとに或は最新發見だとか獨特であるとか云ひ乍ら遂に單に人を眠らすのみの效果しか現れなかつた。

しかし乍ら神秘流催眠術は斯かる山師の一時的金取主義によりて創られたるものではない。明治三十二年これが創建となり數年實地に渉りて好結果を得るに至り逐に明治四十四年官の許可を得て弘く一般の人々に普及するに至つたので、これが發表と同時に其效果大なる點に付きては贊辭雨の如く、特に伯爵冷泉爲系氏大阪每日新聞社大阪圖書館長等に激賞せられたのである。藥品器具を用ゐずして難疾を治し、仕方のない惡癖を術力によつて矯正したり、男女の愛情を增さしめ交際を巧妙にし商賣に應用して利益を得他人の意志を左右せしめ進んでは透視豫言等を行ふ等自他に施して廣く世上多大の利益を得られ應用自由自在なるは神秘流催眠術のみだ。

術を會得する方法

斯くの如き貴重なる他に類なき術力は何人も其極意を開放し、且つ年齡に學問の有無を問はず自宅に居乍ら職業のすこしの暇を利用して完全に正則に會得する事が出來る今般帝國神秘會に於ては社會に效益多き神秘流催眠術の極意を開放して、一書を公刊し題して『催眠術說明實驗錄』と稱し一萬部を限り何人にも無代を以て進呈することになつた。

無代進呈の書籍

右の無代進呈の書冊は菊判美本であつてハガキにて大阪市東區東雲町三丁目帝國神秘會本部に宛て請求次第送附するのである。其內容は本會々長の說話哲學大家裁判醫等の催眠術話及び此術を應用して病癖治療透視豫言安產禁酒禁煙夢中旅行意志人格變換感情慾情愛情の變化、氣合、瞬時に一喝的催眠の法、應用の結果實際に多大の利益を得たる證等を詳述してをる。此術は時と場合とを論ぜず駄心家も反抗者も老幼男女皆感應す。諸君は是非ハガキ一枚を投じて無代進呈の書籍を請求すべきである。

大阪市東區東雲町三丁目　帝國神秘會本部

春は來れり………野外の御携帶品は………

國産　何よりも安心して食べられる

當會社特設の化學試驗部に於ては藥學博士丹波敬三氏藥學博士岡田春吉氏兩顧問の選定せられたる專任技師數名顧問指導の下に日々使用する原料を檢定して品質の統一を期す

森永ミルクキヤラメル
森永チヨコレートバー
森永フレンチキヤラメル

ポケット用　大丹個入　小十五入
ポケツト用
ポケツト用廿個入

右は當社第二工場にて毎日盛んに製造して居りますから倍舊の御愛用を願ひます

東京　森永製菓株式會社

一番良い齒磨はライオン！
煉齒磨中の逸品は、
ライオン煉齒磨！
水齒磨中の逸品は、
ライオン水齒磨！
一番良い齒磨はライオン！

ライオン齒磨　ライオン石鹸　本舗　小林富次郎

汽車

[illegible]

京城日報　第三版

京城日報

貿易と自給策(一)

世界的大擾亂たる歐洲戰爭が、交戰諸國は素より、他の中立諸國の經濟界に與へたる影響頗る大にして、之が爲めに列國の戰時中及び戰後に對する經濟政策は、之を戰前に比すれば頗る其の趣を異にするものあり。彼の獨逸を中心とせる中歐關稅同盟の如き、又之に對し協商國側が報復策を講ずるに至りしが如き、特に英國が多年誇りとしたりし自由貿易主義を擲棄して、保護的政策を執るに至れるが如き、觀じ來れば、從來商品に國籍なく、有無相通ずるを國際貿易の要義とせる、所謂國際的分業、世界經濟の時代が、再び國家經濟國民經濟時代に復歸せむとする傾向の頗る顯著なるものあり。從て今後列國の商業政策は著しく保護的色彩を加へ來るべきは、豫想するに難からず。斯くの如き經濟上の趨勢を前提として、吾人は曩に開かれたる道長官會議に於ける、寺內總督の訓示中、朝鮮の貿易政策に關する項目につき、其の意味を敷衍し、更に朝鮮も亦經濟上自給自足の政策を必要とする所以を說かむと欲す。

先づ朝鮮の貿易を概觀するに、經濟の發達人口の增殖等に伴ひ併合前に在りても年々增進の實績を示せりと雖も、特に新政施行後には貿易の發展顯著なるものあり。貿易總額を見るに、明治三十八年には四千七百餘萬圓なりしものが、同四十三年には六千八百餘萬圓、大正二年以降は著しく膨脹して一億を超ゆるに至れり。而して貿易の總額は斯くの如く年々增加し行くと同時に、未だ出入の均衡を得ざるものあり。由來朝鮮の產業は多年萎靡振はず、日常必需品に至るまで、多くは之を外に仰ぎ爲めに貿易は常に輸入超過の逆勢に在り、正貨年々に流出して財政經濟は年々に之が爲めに壓迫せらるゝの狀態に在り。新政施行の後と雖も此の輸移入超過の趨勢は未だ熄むことなし。

朝鮮が輸入超過に苦しむことは、其の產業の狀態に鑑みて、已むを得ざる事情なきに非ず。固より絕對なる自給自足主義の執り易からざるは單に朝鮮のみに限らざれども、然かも多數民衆に勤儉の思想乏しく、殖產興業の力足らず、却て奢侈に流れ爲めに外品をして跳梁跋扈たらしめんには、輸入は益々超過に趨き、產業經濟の發達到底期待す可らざらむ。これ爲政者の最も憂ふべき所なり。かるが故に、寺內總督の重任を負うて此半島に臨むや、頗る朝鮮の輸入超過に在るを憂慮し、之が爲めに貿易の根本政策を確立して、輸出を獎勵し輸入を防ぎ、其の均衡を圖り、以て健實なる經濟界の發展を期せり。

戰後國際關係

【東京支局より】

○歐洲の大戰爭一旦終局を告げ、平和克復せば、世界列強の國際關係は如何になり行く可きか、是れ經世家の大に考慮せざる可からざる大問題なれども、恐くは何人も之れに對して的確なる答案を與ふること能はざる可し。

○試みに考一考すれば、戰後聯合國は、果して互に今日の關係を持續し得るか、或は若し露獨近接して、露英疎隔するが如き場合ありとせば、日本は如何なるポイントに立たざる可からざるか、斯くの如きは、一の取越苦勞に過ぎずと云ふ人もあらんが、事實必ずしも然らざるものあり。

○日本は既に露國と益す親善の度を加へ、若し傳ふる所の日露新協商をして事實ならしめば、其の協商は、殆んど同盟同樣なれば、戰後に於ける露國の國際關係如何は、實に日本に對し重大なる關係を及ぼすは論を待たざる所なり。

○先づ吾人の懸念に堪へざるは、露國對英佛の關係が、戰後に於ても果して其親交を持續するを得るや、否やに在り。如何となれば、露獨は一昨年來行き掛り上、敵味方となりて戰ひ居るも、其の內幕を云へば、露國には親獨派頗る勢力あるを以て、永く英佛と提携せんよりは、寧ろ獨逸と握手することを、彼等の希望する所なる可きを以ても也。

○又獨逸側より云へば、佛國は到底親和す可からざる不倶戴天の敵にして、英國とも歐洲の天地には、兩立する能はざるを以て、西方に於て佛を敵に控へ居る以上東方に於ては露國と握手することの、良策なるは無論なるがゆゑに、露の接近は、自然に彼等の歡迎する所となるや、想像するに難からず。

○斯くして若し露國が果して、歐洲に於て獨逸を接近し、極東に於て日本と同盟同樣の協商成立するに至らば、英國は假令ひ、歐洲に於て佛國を味方とするも、歐洲に於ては、到底獨逸に敵する能はざる可し、故に英國は戰後と雖ども、露國と離れざるを得策とすると同時に、又日本との同盟を益す鞏固にするの必要あらん、否らずんば濠斯、印度方面は危殆に陷らん。

○有體に云へば、日本は今日最早や日英同盟に重きを措くの必要なけれども、英國が益す其の必要を感ずるは、蓋し之れが爲め也、されば日本外交家の大に爲す可きは、此の秋に在り、今日は實に千載遇ひ難き好機なり、此の好機に乘じて縱橫の手腕を揮はば何をなして成らざらん、何事をもなす能はずんば、是れ日本に外交なしと云ふも決して誣言にあらず(東京某陸士の外交談)

仁川各國公園の躑躅　前川千帆筆

(十一) 文武

東拓理事 村田俊彦　(41)

と。是れ末端を見て根本を忘るべからざるを論したるものなり。即ち此等皆文武兩道異ならざる旨を述べたるものなり。又語に士魂商才と謂ふことあり。是亦同一の謂にして、士魂商才は單り商人が守るべき座右銘たるのみならず、武士亦守らざる可らざる規條たるなり。猛きのみが武士にあらずと云へるも、亦此意の一端を述べたるものなり。(以上十行は前回文道武道の項中武學輪胖の引用文の末に屬すべきものなり)

文法武法

文武の道斯の如く同一なり、從て文を行ふ文法、武を行ふ武法、又互に似たるものあり。換言すれば文にも武法を要し武にも文法を要するなり。六韜中龍韜の農器の章に說て曰く武王太公に問ひて曰く天下安定に國家無事なるときは戰攻の具修むること無かる可けんや守禦の備へ設くること無かる可けんや太公の曰く戰攻守禦の具は盡く人事に在り耒耜は其れ行馬蒺藜なり馬牛車輿は其れ營壘蔽櫓なり鋤耰の具は其れ矛戟なり簑薜簦笠は其れ甲冑干楯なり钁鍤斧鋸杵臼は其れ攻城の器なり牛馬は糧用を轉輸する所以なり雞犬は其れ伺候なり婦人織紝は其れ旌旗なり丈夫壤を平ぐるは其れ城を攻むるなり春草棘を鏺るは其れ車騎を戰はしむるなり夏田疇を耨るは其れ步兵を戰はしむるなり秋禾薪を刈るは其れ糧食を儲へ備ふるなり冬倉廩を實つるは其れ堅く守るなり田里相伍するは其れ約束符信なり里に吏官有り長有るは其れ將帥なり里に周垣有り相過ぐることを得ずは其れ隊分なり粟を輸し芻を收むるは其れ廩庫なり春秋に城郭を治め溝渠を修するは其れ塹壘なり故に兵を用ふるの具盡く人事に在り善く國を爲さむる者は人事に取る故に其の六畜を遂すんじ其田野を闢き其の處所を安んせしむ丈夫の田を治むるに畝數有り婦人織紝に尺度有り是國を富まし兵を強うするの道なり武王の曰く善哉と、是れ文にも武法を用うべきことを說きたるものなり。獨逸が千八百七十九年自由貿易主義を廢して、保護政策を執り、極力自國の產業發達に努め、列國の製品に對し激烈なる防禦を爲し、進んでは其勢力範圍にまで侵入せしが如き、千六百五十一年英國が航海條例を定めて、和蘭の海權を奪ひしが如き、文の貿易政策に於て、武の法を用ひたる實例なり。前者は實に帝國建業の大宰相ビスマルクの主唱に係り、後者は實に千載稀有の豪傑クロムウエルの發意に出づ。千八百七十九年五月二日、ビスマルクは、冒頭に、余は保護貿易と自由貿易との可否を抽象的に論ぜんとするものにあらずと喝破し、種々保護政策の必要なる理由を述べ、次で抽象的科學の眞理は、毫も余を動かすに足らず、余は現在余の生存せる時に於ける實際の經驗上に、余の說を立つるのみ。英國は勇敢なる力士の如く、其の鍊へたる筋骨を、[illegible]の理に投じ、天下無敵の態度を示すと雖も、實は徐ろに保護政策に傾くべしと云々と述べたり。今日獨逸が、高く協商側の大軍を受けて怯まざるのみならず、一時窮乏に陷るべしと豫想せられたる種々の貨財に於て、なほ綽々として餘裕ある色を示せるは、一には實に彼のビスマルクの武法を用ひし政策より來りたらずんばあらず。クロムウエルの航海條例は、人のよく知るところにして、其條例の概要を述ぶれば、歐洲諸國の貨物は、英國の船舶によるか、然らずんば其生產國の船舶によるの外、之を英國に輸入するを得ず、又砂糖、煙草其他英國の殖民地に產出する或種の貨物は、英國を通過するにあらざれば、之を歐洲諸國に輸出するを得ずと云ふに在り。此條例に依り、英國は遂に和蘭の海上權のみならず、商業權をも獲得したり。英國は幾十年來自由貿易主義を確守し其態度甚だ溫厚なるが如しと雖も、其興國の際に當りてや、其の政策頗る剛武なるものありき。獨逸人が質素且つ規律的にして業を執るが如き、英米人が規律思想に富みて自己の權利を侵害するものに對しては、一步も讓らざるが如き、亦以て文に武法を用ふる一例とも見るべきなり。

大阪財界便り

△鐵材禁輸と工業界　今回英國政府の鐵材輸出禁止令發布に伴ひ今後我工業界特に造船界に及ぼす影響は甚大なるべく道は昨年十一月頃より英國に於ては一般に海外よりの注文を拒絕し居りたる狀態なるを以て本年五月に至らば一層の危機を誘へ我工業界に一大打擊を蒙らすべく豫測せしめ隨つて鐵材の暴騰を演じつゝありしが今や現實に輸出禁止を見るに至りしため其の打擊程度極めて深甚にして就中建築用造船用橋梁用の型物の如きに至りては殆んど全國の製鐵工場に於て兵器製作を爲しつゝあるを以て市場への出廻は素より皆無となるのみならず自然英國以外の製品に需要集中を見るべし但し板物棒類に至りては從來餘りに品拂底にもあらざれば禁止後に於ても他國より市場の出廻りあるべきを以て結局幾分かの昂騰を見るに止まるべしと

△日本莫大小企業　當地江商合資事業中の莫大小部を割きて新設會社へ移すべき既記の企業計畫は愈準備進行を告げし由にて近般田附政次郎氏を中心とせる發起人に依りて具體的に發表を見るべき運びとなり右の田附氏は三井物產大阪支店に對し所要の紡機一萬錘の購入注文に及びたるが要は會社の名稱を日本莫大小と稱し資本百萬圓の一萬株にて先づ四分の一拂込みを以て開業し工場敷地も最早豫選濟みとなりし模樣なりと

△兵庫電軌社債成立　兵庫電軌は今回年七朱額面百圓發行の社債百八十萬圓を公募することに決定し之れが取扱を日本商業並に百三十四銀行保險の下に既記藤本、增田、濱崎組織の新現物團にて公募すべく近々其の發表を見る筈なるが右社債の用途は債務の償却並に軌道延長等の費用に充當するものゝ由

△輸出製品種目　戰亂の影響を蒙りたる本邦工業製品の輸出は以來著しく增加し新に輸出取引を開始する者頗る多數に達し本年一月より本月十七日迄に大阪府農商課に宛て新に工業製品の輸出許可を申請し來りしもの既に八百二十三件に達せるが此を前年に比すれば約二倍餘に及べりと而して其品中重なる種目は護謨製品綿布類毛絲苛性曹達錫製品等にして此外洋服絨氈硼酸クローム羊毛製品毛製ブランケット黄燐赤燐にて數量極めて少額なるも此れ等工業製品は七分までは支那方面に輸出せられ就中ゴムタイヤゴム毬乳首等は大連を中心として北支西伯利亞方面に移出するも尠からず支那に次いでは印度濠洲方面なるが各出願者共戰爭前は輸出額の數量頗る少額なりしが本年は其の數量に於ては三倍乃至五倍に上り居れりと(大阪支局)

□一句づゝ (五の日十の日合吟)

○瀧壺の眞空の供養日の躑躅　鳥堂

○夜躑躅を臼搗へ灯し往く　目池

廿二日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金五拾錢(郵稅一ヶ月金拾五錢)　三ヶ月金壹圓七拾錢　▲郵券代用は二割增
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲報欄內一行金壹圓貳拾錢　▲所指定一行金壹圓三拾錢　▲字の一行は二號活字同樣　▲五號活字同樣
發行兼編輯人 [illegible]　印刷人 [illegible]
太平通一丁目　發行所 合資會社 京城日報社
電話番號 [illegible]　振替貯金口座京城三〇〇番

▲愈上放れたり [illegible]

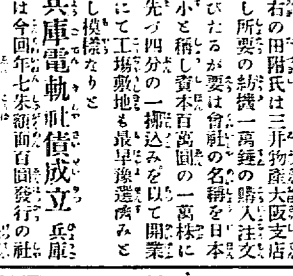
廿一日の六月限　寄付 十一圓三十五錢　後止 十一圓四十六錢

四月限　五十石　五月限　一千九百五十石　六月限　二萬六千七百石

城山面月林里孫甲伊(三)は昨年四月中自家の畜牛が罹病したる際獸醫に診斷を受けたるに到底快服覺束なし [illegible] の判決となりたるを不服として京城覆審法院に控訴したり

東京時事新報社發行　二大子供雜誌　お待兼の五月號出來
少年　●小飛行家と熊　●愛讀者大會記　●空中王スミス　●凸坊の關西旅行
定價各十六錢(稅一錢)
●風薫る青葉蔭　●少女大會の朝　●寫眞の怪人物　●宇治は茶所
少女

巻頁　大美代　富士商會　大邱 電話五〇六番

電氣扇　電氣ストーブ


サンデン電氣商會　本店 東京市京橋區尾張町二丁目　工場 市芝區高輪北町五三　大阪市東區備後町　橫濱市吉田町一ノ二九
夏の物冬の物

移轉
從來旭町二丁目(元名古屋城跡)にて營業中の處今般左記へ移轉候間不相變御引立の程願上候
京城南米倉町二五二番地　ペンキ塗業　小林德三郎　電話三二四番

購買入札
敷布二百枚外十五點　總督府醫院納
右購買入札ス詳細ハ大正五年四月二十二日以後ノ本府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

法人登記公告
利川地方金融組合ハ出資總口數ヲ五百拾口ニ拂込タル出資ノ總額ヲ金八百七拾九圓七拾參錢五厘ト變更シタリ
右大正五年四月拾八日登記
長湖院地方金融組合ハ出資總口數ヲ貳百參口ニ拂込タル出資ノ總額ヲ金四百八拾八圓四拾五錢五厘ト變更シタリ
右大正五年四月拾八日登記
京城地方法院利川出張所

興味淋漓る好讀物滿載の五月號
講談雜誌
定價一冊十二錢(稅一錢)
旗下五人男 此村大吉(長編)　神田伯龍
太閤お歌合　一立齋文車
清正公酒屋(落語)　翁家さん馬
永井源三郎 桐ヶ谷隱亡 小舍　猫遊軒伯知
無筆(落語)　柳家小さん
河內山 丑松の仕返し(講談)　悟道軒圓玉
菖蒲湯
鯉の御意見　昇龍齋貞丈
犬がや(落語)　橘家圓蔵
吳州娘白波 日の出松吉(長講)　悟道軒圓玉
五月雨草紙　船越右京
戀掛茶屋錦襴綾(長講)　江木水
榊原高尾　桃川如燕
東京本町 博文館 全國賣捌書店

鑛山用測量器諸機械　京城本町 シノサキ

第壹輯 印度太古史
ラプソン先生著　山下祥光先生譯
▲原書は丸善で賣切れ▼　▲の大好評を博す!!▼
實價壹圓五拾錢　送料金拾貳錢
印度の文學美術を徹底的に理解するには本書の如き眞面目なる譯書に依らざる可らず用紙裝幀印刷共に出版界の好模範にして價頗る低廉識者幸に一讀あらん事を
發兌 東京市外田端 世界美術史刊行會　特約 京城 大阪屋號

第貳輯 西洋美術史
ブラオン先生著　文學士 石井直三郎先生譯
原書は泰西の名著、譯者は美術研究界のオーソリチー!!本文用紙純白ラフ百二十斤製本は本緞麻布、釘留紙函入、金版應用天金、挿輸用紙ネルソン二百斤全部コロタイプ今迄日本に於て斯る立派な、ある犧牲的の出版物を提供せる出版者ありや
▲コロタイプの挿輸百二十餘種木版二十餘圖　▲實價壹圓五拾錢　送料拾貳錢

實業勃興の新福音滿載す
實業之日本
新卒業生の就職口を紹介す
社員採用標準…同部社長
五十圓の資本で儲かる小賣店經營法
新に染料會社長となれる中谷弘吉氏
清富論…增田社長
世界を取引して成功せる國參家……
實業成功の七大資格　浮田博士
時局の急に應じた研究所……瓊川生
南方へ往け…新渡戸博士
幼主人を助けて店運發展の模範店員
時局利用の廣告及び販賣法
我國の國民商標制定の一案　商標工學士
美談 致富の鰤大盡…素秋生
六十三歲の老校長の活力存養秘訣……
實業家の青年末路(必讀要す)
食物をうまく食ふ八要件…豐田醫學士
腦神經患者に效ある 水療法　醫學博士 佐野彪太
四月十五日發行　定價十三錢　郵稅一錢五厘　半年一圓八十錢　東京實業之日本社　振替三二六

○總統派の計畫

劉冠雄上海に向ふ
總統の退職を迫る

陸榮廷梁啓超は電報を以て龍濟光と談判し暗に龍を放逐する計畫を廻らしつゝあり海軍總長劉冠雄は十七日軍艦海折に乘じ僚艦二隻を率ゐ御用船三隻に第十二師團中二個聯隊の兵士約三千を搭載し上海に向け出發せり李經儀は十九日黎元洪と會見し長時間懇談せり袁總統の一派は袁總統を最後迄總統の職に就かしめんとし南方に對しては毒を以て毒を制するの策即ち南方をして益內訌を起さしめんと畫策し居れり而して十八日陳四川將軍より電報あり蔡鍔を始め雲南貴州共に依然として袁總統の退職を要求し妥協不調に終る時は江蘇、浙江、江西、湖南、湖北、山東の各省より各代表者を出し某地點を選び更に南方と交渉する外なしと述べたるが之と同時に四川は愈な近く獨立すべし陸榮廷唐繼堯蔡鍔龍建章等聯名にて中央に向け袁總統の退職を迫り約法に從ひ後繼者を出し速かに國會を召集せられたしと云ひ來れり（北京特電）

○江蘇省一齊に獨立す

江蘇省江陰砲臺の獨立に次ぎ蘇州呉江鎭江何れも獨立したり斯く江蘇省中主要の都市皆獨立したる以上は其の首府南京にある馮國璋も單り袁派たることを標榜するの危險なるを知り遂に南京の中立を宣言し一身の安全を計らんとするものゝ如し（上海特電）

○革軍虎門を占領す

革命軍は十八日關東省虎門を占領したるが反對黨は伸拔を外國宣敎師に依賴したり（上海特電）

○奉天省の中立態度

奉天は目下張師長に依りて治安秩序を維持され事實上中立の態度を持し居れり獨立宣言は發表されざるやも知れず（大連特電）

○米の對獨通牒と論點

大統領ウキルソン氏が獨逸に對して通牒を發したることは既電の如くたるが右の回答に對しては時間の制限を附せざれども國務省にては今週末迄に之れが回答の到着すべきを豫期し居れり大統領ウキルソン氏は今回の通牒の論點は全中立國と共通たるべしと思考し居れり（倫敦電報）

○英首相と重要問題

首相の演說＝下院停會を被命

英國首相アスクイス氏は下院に於て演說して曰く內閣は今猶募兵問題其の他實際上の諸問題に付き一致を缺げるを遺憾とす萬一是等の諸問題にして內閣の一致を以て解決し得ざる曉には結局政府の瓦解を來すに至るべしされども政府は是等の不祥事を極めて重大なる意味の國家的不幸なりと信ずる點に於て相一致せりと述べ前自由黨議員及び統一黨議員の多數は之に喝采せるも統一黨議員の一部には異議を唱ふるものあり尙アスクイス氏は是等の事件の成行は今後數日間に解決さるべき望ありと附言し下院は四月二十五日迄停會を命ぜられたり（倫敦電報）

…軍死傷

…ついては一米突半の高さに堆積せられフレスネの附近にて收容せられたる重傷者のみにても六千に達せり…

…るは注目に値す（巴里電報）

…の包擊戰

…對し引續き三回の攻擊を行へるも總て擊退されたり（倫敦電報）

○司法官會議開會

司法省にては横田大審院長平沼檢事總長各控訴院長同檢事長各地方法院長同檢事正等百十四名並に朝鮮總督府高等法院檢事長外十一名臺灣總督府覆審法院長外一名關東都督府高等法院長外一名を召集し法官會議を二十日午前十時より司法省會議室に於て開會尾崎法相鈴木次官出席法相の訓示に次ぎ次官の司法事務に關する注意あり正午休憩午後再開し司法事務に關する協議を爲したり（東京特電）

○秋山少將歸還

秋山少將の一行は大本營の所在地より露都に歸還したり（露都電報）

○慈惠醫官異動

朝鮮總督府慈惠醫院醫官に左の異動あり二十一日發表さる（東京特電）

朝鮮總督府慈惠醫院醫官　藤井　□象

命京畿道水原慈惠醫院長　有馬長次郎

同

命平安北道慈惠醫院長

○笠置艦入港

練習艦笠置は二十日旅順より入港二十五日拔錨鎭南浦に向ひ其れより仁川鎭海灣に至り佐世保に向ふ豫定なり（大連特電）

◎個人間の金利

各道の比較

大正四年中に於ける鮮內主要地の個人間貸付金利を債權債務者別とし、其平均普通利率を前年と對比すれば左の如し、但し其利率は各地とも著しき高低あること勿論なるも一々之れを記述するの繁を避け、玆には各道の普通利率中最高及び最低利率のみを紹介す可し

▲朝鮮人相互間　最も高きは忠南の四分六厘にして忠北の四分五厘、全北の四分三厘等之れに次ぎ、最も安きは咸北の二分七厘、平北の二分七厘なり、而して各道の平均利率は最高八分二厘、最低一分七厘、普通三分六厘なるが此平均普通利率を前年に比すれば一厘方を低落せり

▲內地人相互間　最も高きは忠北の三分九厘にして、京畿の三分四厘之に亞ぎ最も安きは慶南、黃海、平南の各二分五厘なり、各道の平均利率は最高六分三厘、最低一分四厘、普通二分九厘を示し此普通利率を前年に比すれば三厘を減せり

▲支那人相互間　最も高きは咸北の三分六厘、忠北の三分五厘にして、全北の一分八厘、慶北の二分一厘を最低とす而して鮮內の平均利率は最高五分五厘、最低一分六厘、普通二分九厘を來し前年に比するに高低なし

▲歐米人相互間　全北の三分最も高く、慶南の一分最も安し、各道の平均利率は最高二分八厘、最低一分五厘、普通一分九厘にて前年に比し高低なし

▲朝鮮人對內地人　高きは忠北の四分九厘、京畿及び咸北の三分六厘にして安きは平北の二分九厘、慶北の三分一厘なり、而して各道の平均利率は最高八分、最低一分八厘、普通三分五厘にして前年に比し高低なし

▲內地人對朝鮮人　忠北の四分六厘京畿、咸北の三分六厘最も高く、江原の三分一厘、平南の三分二厘最も安し、各道の平均利率は最高八分三厘、最低一分八厘普通三分五厘にて前年に比し普通利息は三厘方を減せり

▲朝鮮人對支那人　最も高きは忠南の四分七厘、最も安きは平南の二分六厘にして各道の平均利率は最高六分四厘、最低二分四厘、普通三分五厘を示し、普通利息は前年に比し高低なし

▲支那人對朝鮮人　最高は全南の四分、最低は慶北の二分にして各道の平均利息は最高五分八厘最低二分二厘、普通三分二厘なるが之を前年に比するに普通利率に於て五厘方を減せり

▲朝鮮人對歐米人　最高は平南の二分、最低は慶南の一分二厘にして各道の平均利息は最高一分九厘、最低普通とも一分六厘、之を前年に比するに一厘方の高率を見たり

▲歐米人對朝鮮人　京畿の三分九厘最も高く、慶南の一分五厘最も安し、各道の平均利率は最高三分八厘、最低一分六厘、普通二分六厘にして普通利息を前年に比すれば一厘方の高率なり

◎府の市場經營

模範的施設の急務

京城に於ける市場經營者は東大門、南大門、中央集散場の三大市場を始めとし此他數種の食料品、薪炭等の市場經營者あれど何れも嘗て總督府の發布したる市場規則の施行前に於ける設立になるものにして新令に據れば全部法人の經營とす可きものなれども同法令發布前に設立しなる市場に對しては其認可の期限中個人の經營を許すとの特例を認められ前者は何れも其に據つて經營を繼げ居れるものにして其の營業に對する稅金の收入は地方費の收入として京畿道の歲入に編入され居るものなり然れども近き將來に於て前記の各市場が認可期限の滿了と共に當然法人たる京城府に於て經營す可きものなるは勿論京城府の財源としては最も有望の部に數ふ可きものたるに至る可し就中中央集散場は認可の期限最早幾千も無き有樣なれば近く府に於て之を經營するに至る可きものなるが府は京城將來の發展と市街衞生の點よりして模範的の設備を施したる所謂中央市場の設置を必要なりとし府協議員中にありては早くも腹案を持する者もある由なるが果して早晚設置さるゝものとせば何れの地點に如何なる設備を施す可きかは都市經營上大に研究を要す可きものゝ一たる可し又最近には龍山新設師團の家族永住に伴ふ自然の要求として龍山に市場設置の急務を叫ばるゝ際なれば京城の市場經營は一大研究問題たる可し

◎仁川海上保險狀況

仁川に於ける三月中の海上保險の狀況を聞くに當今米況不振の折柄阪地の注文も少く從つて輸移出商も前月に比し六萬六千餘圓の減少を示したるの不勢なりしかば貿易の消長と密接の干係を有する當港海上保險業も又不振の理に在るを免れざりき今試みに東京海上橫濱海上神戶海上日本海上及び帝國海上の保險會社宮地代理店に就き保險契約高保險料並に支拂損失金を前月と對比し見るに

	保險契約高	保險料	支拂損失金
本月	四三〇、五〇五	一、〇八六	なし
前月	四九七、五九二	八六〇	なし

（金塊貨幣の保險を含有せず）

即ち保險契約高は六萬七千餘圓保險料は二百二十餘圓孰れも減少せり是れ移出大宗たる米況の不振に基因することゝ明なり更に金塊貨幣に付きて見るに京城及び新安州より大阪へ輸送せられし金塊保險契約高は四十六萬九千二百餘圓にして三萬一千餘圓を減少し仁川及び京城より內地及び鮮內各地へ輸送せられたる貨幣契約高は三千二百餘圓の減少にして前月に比して三十一萬三千餘圓の減少なり是れ全く前月末大阪へ銀貨の回送卅萬圓の巨額ありたるに由るもの也

◎仁川倉庫業狀況

陽春の候に入りしと共に各河川沿岸地方の解氷は舟楫の便を開き奧地並に沿岸地方よりの穀物廻送は容易になりたるを以て米穀其他の雜穀は出廻り增加の趨勢を保持したりと雖も前月來の內地期正米の不振を目堵しては頗に資借む向もあり又當地手持筋も鮮米を抱擁して安くは賣放たず市場も品薄にて取引少かりし爲め輸移出減少して頗と消化を見ず且つ定期受渡準備米の倉入品もありて前月に比し稍な在庫高減少せしと雖も斯業は引續き盛況を呈せり左に穀物倉庫會社月末在庫高に就きて見るに玄米十萬六千餘叺白米四千餘叺大豆二萬八千餘叺其他雜穀共合計十五萬三千餘叺にして前月に比し玄米は六千餘叺を增加し白米は二千餘叺大豆九千餘叺を減少し其他諸穀總計に於ても六千餘叺を減少せり今之を銀行船會社及び其他個人別に大別すれば銀行十萬四千八百三圓船會社二萬九千三百五十六圓其他一萬八千九百六十六圓にして銀行在庫最も多く船會社之に亞げり是れ朝鮮商業銀行が倉庫業を兼營する自然的現象にして又庫入者が資金の融通を仰ぐ事多かりしに由る轉じて輸移入品側を見るに先高見越の輸移入旺盛にして前月來の持越品も夥しく被服食料品一般に增加の情勢なり本月末に於ける在庫見込高は晒金巾四百梱生金巾四百五十梱麻布千二百五十梱綿糸四百梱砂糖三百俵麥粉二千五百袋原鹽千百袋なり

◎獻金取纏通牒

明治神宮奉贊獻金に關し愛國婦人會朝鮮本部にては役員申合せ京城府管內會員及び一般婦人有志に對し勸誘取纏むることゝなりしは既報の通りなるが各支部內の有志に對しては本部長、委員部長に於て取纏めありたき旨二十一日山縣本部長より其れ／＼通牒する所ありたり因に京城在住婦人其の家族等にして直接本部に持參の向は何時にても受領す可しと

◎利江道路工事狀況

土木局京城出張所の所管となり居れる京畿道利川より江原道東海岸江陵に至る三等幅の二等道路は總延長五十二里に及び其中三十四里三十三町は既に竣工し其の殘餘の十七里二十三町は目下大倉組受負の下に專ら工事を進め大正六年三月全通の豫定なるが目下の所總延長の七分五厘方竣工し居れりと

◎不登簿小蒸汽船

朝鮮の汽船中不登簿船となれる二十噸以下の小蒸汽は渡船漁船の巡邏艀舟代用等に使用され其の總隻數七十隻なるが流石に海岸線の屈曲長く又都邑に近く大河流のある道は其の所在船多きが目下の所左の如き順となる由

慶尙南道一八、京畿道一五、全羅南道八、平北平南各七、咸鏡南道五、全羅北道四、忠南三、黃海道二、慶尙北道一

人事消息

▲七多幸介氏（水原勸業模範場長）二十一日入京旭城館に投宿

▲服部慶北警務部長　二十一日南往

○トレビゾンド占領

露軍の一齊攻擊＝優越權を得

露軍と土軍の一部隊との一齊攻擊に依り陷落せるトレビゾンドはアルロング、チヤストの東方より進擊せる露軍とトレビゾンドの西方に上陸せる同軍の一部隊との一齊攻擊と艦隊よりの砲擊とに依り陷落せり同地の守備兵は約五萬人ありしもの丶如し尙同地の占領は政策上及び軍略上非常なる優越權を得たるのみならずチヨロルス河上流のバイバートを防守しつゝある土軍は露の南北兩軍に依り威嚇せられ彼等は露軍に包圍せらるゝ前退却せざる可らざる形勢に立至れり（露都電報）

○土軍の奮戰と損害

露都來電公報に曰く土軍の大部隊は四月十六日ガリシヤのボボワモヒラに向ひて必死的襲擊を行ひ一回は我が前線一哩半を占領せしが其他は多大なる損害を蒙りて擊退せられたり露軍はエルゼルムの西方に於ける際多量の劍銃彈丸投彈器を鹵獲せりエルモヒラを占領せる露軍は堅固に築壘せる陣地より土軍を驅逐したり（倫敦電報）

○露軍上陸

◎東亞煙草の招宴

東亞煙草會社にては二十一日午後六時半より京畿道松永長官以下同部各部長以下を料亭千代本に招待せり

廣梁灣行

勝村生

○春雨は絲を亂した如うに降つてこそ趣きあれど帶を掛き落したり若草を埋める程に降られては春雨情緒は既に失はれて終つたわけである況や礫原路で夏の夕立の樣に降られるのだから決して有難いものではない我が旅に惡しき雨日を選びたり春の麗日稿くだ中に

○大代面を出でゝ少し行く右手の山の上に樂浪時代の古墳が五つ六つ集つて居る眞池洞及び江西の古墳と共に有名なものである天氣が好ければ馬車を停めて訪ふべき筈であつたが

美姬の塚、王陵よりも春早く
若草萠え出づるの首

雨はまだ降りに降り注ぐ此の邊より路は漸く大同江畔を離れて平壤府用に入らず貧弱な農村が遠くに見えたり

○山を越え山を登り五里を聞いた路が遠い。洞へ馬車がゴロ石の上をなるので所は一寸も落付かぬ何處までの所ばつたゴロ石は續くのであらうと思ふと聊か閉口する雨さへ降らなければ降りて徒歩した方が勝しである

幾百萬世の人々の顏に似て冷たく尖がりし礫原の石よ斯んな事まで思つて見た而し路に敷いた石は皆な石英質でタングステンでも含んで居さうであるからそんなよそこらの人達には可愛い／＼石コロで有るかも知れぬ（未完）

漢學講義錄
遞設一ケ年卒業　詩文添削及質疑應答無料　記念大特典
提供　見本兩會員無代進呈　東京神田區表神保町　帝國漢學普及會

長命 糖燐酸 滋養
人間百廿五歲健康法と糖燐酸
大隈伯が七十八歲の老軀を以て內閣組織の大任を拜し壯者を凌ぐ元氣で活動せられつゝあることは何人も羨望に堪へぬ所であるが伯は果して如何なる健康法を行つて居られるか伯は百廿五歲まで生き得らるゝと說かれ人間は百廿五歲迄生き得らるゝと說かれ人間は百廿五歲まで生き得られるのである
本店 東京 百歲生合資會社
關西代理店 大阪 百年堂
關東代理店 東京 加藤四郎

日韓書房
新版報告
春海堂主人著 現代 心中ばなし
牛田 解剖 女 百態
東京 女學校のぞき
帶 政界 奇談
農閑出鱈目 草
京城本町二丁目　日韓書房

外科　內科
花柳病皮膚病
京城壽町（本町二丁目入）
島崎病院
△入院隨時△普通病室隔離病室設備△診察夜九時迄△電話二七三六番

お待兼れの
春衣大賣出
四月廿二日より同廿六日迄
△花よりも御姿が大切▽
決して御心配遊ばさずとも滿都流行の粹を澤山蒐めました弊店へ御越し下さい!!!
京城南米倉町
唐川呉服店
電話二六一番
セル地メリンス帶地品揃
見切品及ツリキレは特別に御安くお願ひいたします
賣出し期間中は特に五步引
（赤札物には割引なし）

アカシヤ桐、櫟、枳殼各種自作栽培廢止に付き
苗木拾賣
アカシヤ一萬本以上の注文は遠近に係らず荷造費運賃共當方負擔
全北全州郡德津驛前
市村清助

……記者に語つて曰く……は獨軍の屍體は或る地點にあ……要戰線に於ける軍隊の編成替の爲めに防碍を蒙る事なく成功を收めたり……ものなりと做せり露軍が不順なる氣候……ウーヴル地方は靜穩なり……に激烈なる砲撃戰行はれたるが……獨軍は午前レス、エパーヂュの我軍に……ぜられまる出賊を要撃し……前線に於ける敵の……支隊を全滅せしめたり（倫敦特電）

●四將軍春の設宴

新舊師團長の更迭

四百の京龍官民代表者を招く

歡語怒たり翻翩たる彩旗の下

廿一日井口軍司令官、橋本第九師團長、立花第十九師團長、古海憲兵隊司令官が新舊師團長交代と之に伴ふ兩師團長、憲兵隊長の更迭と一には新舊師團管下の將校に對する惜別と歡迎とを兼て駐劄軍の駐劄と新師團の新設とに際し京龍在住官公私各方面の

□代表者に挨拶を

爲さんとの宴を設けし此の光榮ある宴に列ならんとて午後二時前後より鐵光帽影紛り馬車、腕車の響きを絡かせ龍山なる軍司令官々邸に向ふ、紅白の幔幕を張り萬國旗を交叉したる官邸南の庭園は白砂塵をも止めず掃き淨めたる處數十の食卓を設備へ一段高き官邸の南面せる露臺にも卓几數基を置きたる春の野宴の準備は流石軍隊張りに清酒を極めたり客の著席終る頃露臺に面せる園を

□排して寺内總督

井口、橋本、立花、古海の四將軍及び各部長官、森武官等を場に臨み幣て井口軍司令官は主人側四將軍を代表して當日の設宴の理由を叙べ更に「今回交替轉還せむとする第九師團は大正三年四月來鮮し既に二箇年に渉りて朝鮮守備の任に當りしが其間取立てゝ言ふ程の軍事行動にも出でざりしが尚其來鮮の時や已に日韓併合後

□三年乃至四年を

經たる後なりしも尚或は時に暴徒の蜂起するあり又或は圖們、鴨綠の江を超えて馬賊の禍難あり爲めに警憲と力を併せて其の鎭撫に任じたる功亦無しとせず更に昨年日支交渉の際は……を極め國交將に破れんとするに際しては京龍駐劄部隊を除ける殆んど凡ての部隊は萬一に對する出動準備の命を受け直に其準備を整りしも幸にして其の力を示さゞる間に

□暗雲一過したる

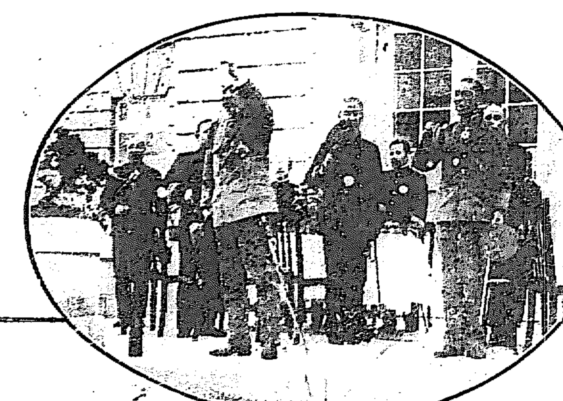
事實もあり」と第九師團の功績を追憶し更に轉じて「第十九師團は茲に新に常設せらるゝ事と爲りしが元來此の師團の任務たるや壯丁を徵集して萬一に備ふべく訓練し國民として國家の爲めに盡すべき資質を涵養せしむるにあり謂はゞ國民學校とも稱すべきなれど朝鮮の師團たるや國民學校の任務に加ふるに

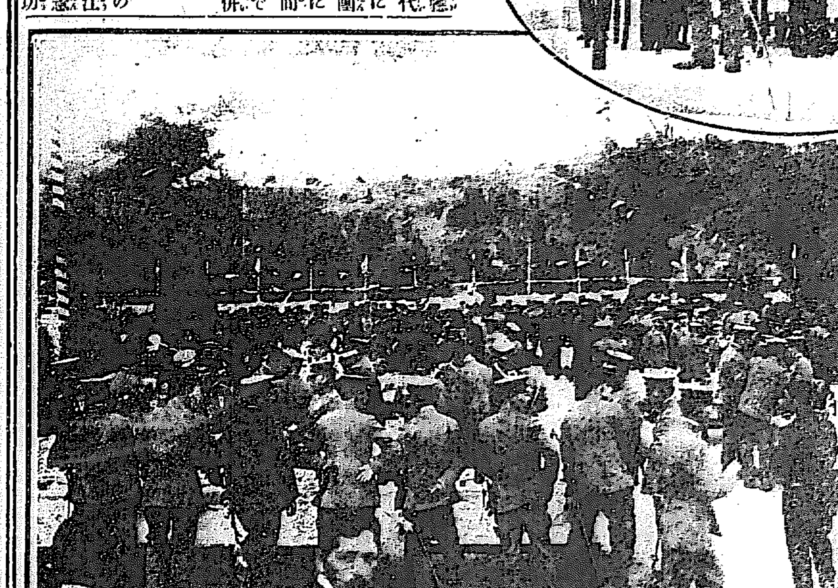
□更に邊疆の守備

てふ重任あり」と朝鮮新設師團の責務に付き警告を與へ最後に軍隊以外の官公私各方面の賓客に對し駐劄軍各部隊が直接間接多大の後援を受けしを謝し新師團に對するも亦同樣ならむ事を希望し席に復歸すれば程もなく煌なたる君ヶ代の奏樂起り一同脱帽敬意を表し更に寺内總督の發聲にて

□兩陛下の萬歲を

三唱し終りて李完用伯の發聲にて兩師團の萬歲を唱和し嚠喨たる奏樂裡に開宴、酒三行にして總督初め軍司令官、兩師團長、憲兵隊長其他の賓客も雛を降りて宴席に伍し曇り日の下に歡聲湧語盡きず午後四時を過ぎて漸く散會したり





（上圖）寺内總督の發聲にて兩陛下の萬歲を三唱し（下圖）聽て宴を開き曇り日の下歡聲喜語興と共に却々に盡きず

□寫眞は斯うしてお撮りなさい

さつぱりとした著物と著更へる今日此頃は、お天手によくお寫眞を撮られますが、今お寫眞を寫される時の

□御注意 を二三申します先づお化粧は濃化粧よりも、肉色の薄化粧がよろしく、背景はごちや〳〵したものよりも無地が一番姿を引立たせます。それから

□著物は 地色が紺か黑で、派手な柄はよろしいけれど縞物ならば白い縞では餘り眼立ち過ぎますから、薄い縞か

□水淺黄 に限ります。白い著物は顏を黑くみせますから、白地の多い夏の寫眞は出來が惡い樣です。又脊の高い方ならば腰を掛け

□低い方 ならば七分身或は全身でも下駄を穿くのも宜しいが、肥つた方は身體を横にして顏を少し正面に向けませう

□肥つた のが左程眼立たずに寫ります。其外此頃では寫す方の方でも色々研究されて居りますから、中々巧妙に寫される方が多くなりました。矢張寫眞も著物を

□選ぶ時 と同じく御自分と云ふ事を知つて居なければならないと思ひます。

●鴨綠江下流に 馬賊蜂起

支那官憲の警戒

十九日鴨綠江下流の大同江大孤山附近を根據として約六百名の馬賊蜂起し近日安東縣を襲ふべしとの報支那官憲に達せるに依り知縣衙門にては二十日來會議を開き多數の密偵を放ちて嚴重警戒中なり（安東特電）

●古沼から屍體

京畿道廣州郡にては五浦面梅山里の九霞沼調査の爲め十九日係員が出張したるに同沼の北端に怪しき屍體樣のもの浮び居るを發見し廣州分遣所よりも係員出張引揚げて檢視したるに全身腐爛し死後約四十日位を經過せる男の屍體なるも人相更に分らず著衣其他より見て年齡約四十歲位の鮮人と分りたるが多分覺悟の投身自殺を遂げしものならんと屍體は同里の共同墓地に埋葬したり

●漁夫九名行衞不明と爲る

釜山南濱町二丁目山中芳太郎所有漁船に内鮮人九名乘込み去る十日江陵郡沖合に出漁中暴風の爲め押流され乘込員中內地人二名は死亡し鮮人一名生存外六名行方不明となりたるより目下搜査中

●血を吐て絶命 苛性曹達を飲んで

京畿道高陽郡漢芝面下往十里李完石長男聖大の妻任姓女（二二）は夫李聖大が昨年十二月より肺患に罹り目下瀕死の狀態に陷り居るより任姓女は只管看護に力を盡くし神佛に祈願して介抱するも更に其効見えざるより大に悲觀したる結果去九日午前一時半頃自宅に於て自家洗濯用の苛性曹達を多量に水に溶解して飲用したる爲め夥しく血を吐きて絶命し居るを家人が發見し大に驚きて急報したるにより高陽署より係官出張檢視の上屍體は戶主に引渡せり

●死刑控訴棄却

京城龍洞生れの金順昌（二二）は他二名と共に昨年七月十五日夜龍山元町二丁目米穀商金榮洙方に侵入し携へたる小刀にて金榮洙の妻李姓女（三九）に斬りつけて重傷を負はしめ長女壽介（一〇）を斬殺したる爲強盗殺人罪として京城地方法院に於て死刑の宣告を受けたるを不服とし同覆審法院に控訴したるも二十一日棄却となりたり

●稀しき畸形牛

全北金堤郡進鳳面の某鮮人方に於て去る十日姙娠中の牝牛が産氣づき仔を産み落したるに其の仔は頭部顏面が人間に酷似し身體は四肢の先二つに岐れ牛の形せるも他は悉く人間に酷似せるより土地の大評判となり毎日近在より見物に赴くもの多く何れも物珍らしがり居れりと

●鎌で斬り付く

全北沃溝郡臨陂面大位里一統十戶農申明佐の雇人金成汝（三七）は去る十三日主人に對し米二斗五升と一圓の貸與を乞ひしも拒まれしより金は翌十四日正午頃傢側に在つて仕事に餘念なき申に鋭利なる鎌にて斬付け右眼瞼部より額竹に掛け長さ十仙米突深さ骨膜に達する重傷を負はせたる騷ぎに群山署に引致され目下取調中尚ほ金は精神に異狀を呈せる模樣なりと

●發狂して自殺

木浦本町一丁目六番地漬物商群島啓次郎は十五日午後十時頃自宅奥の間にて鋭利な剃刀にて咽喉部を掻切り苦悶し居るを家人が認め早速公立病院に擔ぎ込み治療中なるが自殺の原因は平素胃腸病の上に憂鬱症に罹り多少精神に異狀を生じたるものなりと

露店研究（二）

三錢宛の掃除料　ボロい露店商人

太平通りの夜市に出る露店は最初から秋風の立ちそめた最終までを合算して一日の平均數を出すと百軒内外に過ぎないけれども五、六、七、八月頃の最も人出の多い盛りの時分には道の兩側に一尺の空隙も剩さぬ程に店が並んでその數は實に

▽二百五十軒 餘を算へる事がある。新らしく出來た夜市としては先づ盛大な方であると謂はねばならぬ。露店の種類は頗る多種多樣であるけれども、之れを日鮮に區別すると内地人の店が六分、朝鮮人の店が四分といふ割合になる。然るに店に出てくる人の數は之れに反比例して朝鮮人六分に內地人四分といふ割合になつてる。そこで

▽その購買力 は如何といふに日鮮人が先づ相半ばしてゐる。人の出は如何に拙い時でも五六千人は必らずある。最も多い時には四萬五萬に上る時もある。露店商人の經驗談によると、餘り多數の人が出る時は却つて品物の捌けは少い、之れに反して七八千から一萬人位の人が出る時なしに出てくる樣な時には何故か飛ぶ樣に賣れる。そこで

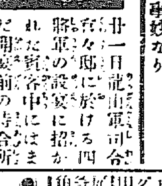
▽露店の組織 は何うなつてるといふに昨年までは出店料さして間口一間に付き金三錢づゝ、掃除料として取つてゐたが今年からは場所によつて掃除料を區別し三錢以下一錢といふ事にした。露店を出してあの人通りの多い所に商品を並べるにしては甚だ少額である上に本人の都合で店を張らない日は掃除料を出さないで濟む。それに又露店商人にとつて

▽非常な特典 は京城府の厚意で露店に限り營業稅の賦課を免じた事である。即ち彼等露店は一枚の戶板の如きものがあらば、それが一つの店舖となつて營業が出來てゆくのである。此の外に尚ほ一つの特典は露店に限つてすべて現金取引で一切貸借といふものがない。だから幾らでも品物を持出して少しでも

▽人目を惹く やうに商品の排列方に注意をして置けば客は期せずして集まつてくる。誰にでも出來る比較的樂な商賣である。どんなボロ店でも一軒の店を出して居れば一圓や二圓の賣上がある。季節に合つた日用品店などになると一晩に四五十圓も賣る店がある。然らば夜市では主にどんなものが賣れるか露店の品物は何處から出てくるか。（つゞく）

◉**仁川の復活運動會** 仁川メソヂスト教會にては來る二十三日學校生徒四十名同教會信者二十名を招き各國公園にて午前六時より八時迄祈禱をなし八時より運動會を開催すべし尚同教會にては目下龍山より鈴木牧師來仁各國公園にて每朝六時より七時迄遊歴祈禱開催中なるが二十二日を以て終了する筈なり

◉**明石裁縫學校の新築** 嘗て毛利家及び井上侯爵家に家庭教師たりし明石梅子女史の經營になる私立裁縫女學校は既往五年間數多の卒業生を出し一般高等女學校卒業生、小學校卒業生の裁縫教育に努めつゝありしが龍山吾町病院隣りに校舍を新築し一層多數の生徒を收容すべく、猶ほ校舍新築の爲め一時に會費全納の人には二箇年間有效の割引券一枚を贈り同校特別部、普通部、夜學部とも一人一枚なれば何人にても使用する事を得べしと



廿一日龍山軍司令官邸に於ける四將軍の設宴に招かれた賓客中にはまだ開宴前の待合所でさへ盛んに俳句を投げ合ひ流石に付いて討論し奇警凄まじいものがあつた▲愈々式が終つた宴席では仲々盛んなるに至つた先づ例に據つて大塊翁が招待狀の裏に「歡聲賀語花に送迎の二個師團」と鉛筆で走り書く▲其れを誰かゞ森安崖城博士のゐる卓に持つて行く處が其の卓には小松原翰長あり村田九分理事あり井手忽水主計監があり仲々唯は通さぬ▲更に『名詞羅列』の惡罵を以て京城俳句界の仇（？）とも目ざされてゐる鈴木局長が先日朝鮮ホテルの軍人後援會でやつた樣な措を頼りに扱いてる▲記者團が押寄せる後方からは總督も瞥見してる、『酒盡きて主人踊らず花の宴』とやつたのは一象林東拓理事である▲『酒はまだ盡きない』だとか『主客としなけりや』とか色々な評が出る▲誰かさう書いた『別れ惜しむ戎衣に匂ふ櫻かな』『戎衣では鳥渡嚇したが要するに月並だ』と云ふ評判▲兎に角茲では滿點はとれないものだと決して來る二十九日にはパコタで更に大塊、崖城、蘯水三宗匠連名發企の俳坐が設けられ愈々雌雄黑白を決する事に一決して宴からの最後の散解團と爲つてしまつた▲記者が社に歸つて見ると机上に一句あり『左記の如く訂正と電話あり候』と前書して『酒盡きて興盡きぬ春の野遊哉』（一象）

◉閑敬院の御忌 ……に於て二十一日より廿五日迄……

◉明田現學師入京 ……管理者明田現學師は廿一日夜京都より入京……

各宮妃殿下及宮内省御内儀御用之光榮を拜せり
●九條公爵家始其他華族貴顯方御愛用の榮を蒙れり
各博覽會にて金銀牌受領
●注意 二號入共頭上揃なきは偽物
定價 廿錢、卅錢、六十錢、一圓
髮を黑く長くつやを出し さらくとして髮のぬけを防ぎ癖あかつかざる事妙なり

▲優良種禽雛種卵
本年度營業案内御一報次第送呈す 各道廳各畜産組合御用達
京城西四軒町 發忠壇入口 赤萩養雞場 電話二百十七番 振替京城三三七九番

京日案内

普通（一行十三字詰一回金十錢）
番外（一回金六十錢）

△辭典類 ▲英和辭典、漢和辭典 勉強販賣 京城本町二丁目 電話二五二七 ……書店 236

◉貸家 黃金町三ノ三……向日本建開靜にて官吏に適す…… 263

▲鈴木 バイオリン マンドリン 京城……樂器店へ 250

代診生入用 希望者は履歴書送れ 京城南大門通……病院 218

◉トランシット讓受けたし 希望者は來談あれ 京城旭町一ノ一三 電一六二四 257

◉募集 店員數名……京城觀水洞……商店 240

雇入 年齡廿五歲前後の男店員數名 龍山三角地……京町入口 上月商店 235

ピストル モーゼル十連發ブローニング八連發……用の方は……御入用の方は…… 235

雇入 年齡十六七歲の男店員……角地……京城本二 239

◉古本買入 ▲地方送金 電話八六五 京城本二 森田文光堂書店 17

◉古本品拂底に付無比高價買入 京城本町四 書肆群書堂 40

◉明治町 ◉電話二七八一番へ ▲フランス教會正門前 33

▲ほねつぎ ▲うちみくじき治療 ◉電話二五九五番 荒川仁壽堂

◉古本なら野村 買入誠實 京城本町一丁目（明治町筋）野村書店 16

小供入用 年齡十四五歲 小學校卒業者 希望者履歴書携帶本人來談 本町二丁目 明治屋支店 267

▲五月號新著 雜誌 只今申込まれよ ◉詳細趣意書進呈 京城本町一 電一三七八 巡廻讀會 259

木杯 漆器 製造販賣 蒔絵工入用 京城本町四丁目 福岡商會 263

朝鮮名產 人蔘 御入用の方は京城鍾路……和平堂藥房 振替京城六八六 260

朝鮮風指一大市場の中央目貫の場所十年實込得意付日鮮諸雜貨賣上多大純益一ヶ月二百圓以上大急店舖居抜盡家屋宅地共に讓渡したし（姓名在社）262

店員至急入用 希望者は午前の拾時より午後四時迄の間に本人直接來談あれ 魚菜問屋 龍山驛前 共榮商會 248

印刷機械讓り度し 四六、八頁中古安價賣却す 御希望の御方は下名へ 京城新町電話二一七 赤萩 254

外務員 一名至急採用す 希望者は年齡廿二歲以上の者にして保證人二名を要し自轉車所持者に限る採用の上は日給壹圓を給す（姓名在社）222

鑛物分拆 正確迅速 太平町二の二三〇 朝陽分拆所

▼鑛物各種分拆 京城太平町二の一二五 坂本分拆所 225

◉ほねつぎ うちみくじき等 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

年金恩給短期貸付 特別無保險貸付 京城武橋町二三番地 電話二二八三番 京城日報社北方一丁 國江商會 242

皮膚病 花柳病 專門 須古醫院 京城永樂町一商品陳列館坂の上 電話二一〇二番 25

年金恩給證書及其他公債證券に對し便利迅速に貸付……京城永樂町一丁目商品陳列館表門前 江川屋 48

◉外勤社員採用 但經驗ある者希望者は履歴書携帶來談 京城南大門通二丁目 大同生命保險會社京城出張所 202

空氣輪新車 ▲賃金普通同樣 ▼當組特色親切本意 本町三 永樂町入口 電話二六八九番 岡本組 東京荷車 216

▲讓る 京城 七十七番 電話 ▲御望みの方は左に 238

拙者儀 高橋直彌及京城金融會には毫も關係無之候也 龍山漢江通八 電話三五五番 富士用達部 京城長谷川町七十六番地 藤野富次郎 247

株 ◉公債株 世界は空前の大戰爭 富豪となるは今株式 ◉現物問屋 京城本町二 電話九九三 田中友吉商店

物品購買公告
一、鐵材外拾點
右ハ競爭入札ニ附ス詳細ハ四月廿二日以後ノ朝鮮總督府官報又ハ本府ノ揭示ヲ見ヨ
朝鮮總督府

愛知縣人會第十三回春季大會
左記の通り開催致し候間萬障御繰合せ御來會相成度候
一日時 四月廿三日午後六時
一會場 南山町千代本
一會費 金參圓（當日御持參の事）
御出席の方は二十三日午後三時までに會場千代本まで御申込被成下度候
京城愛知縣人會

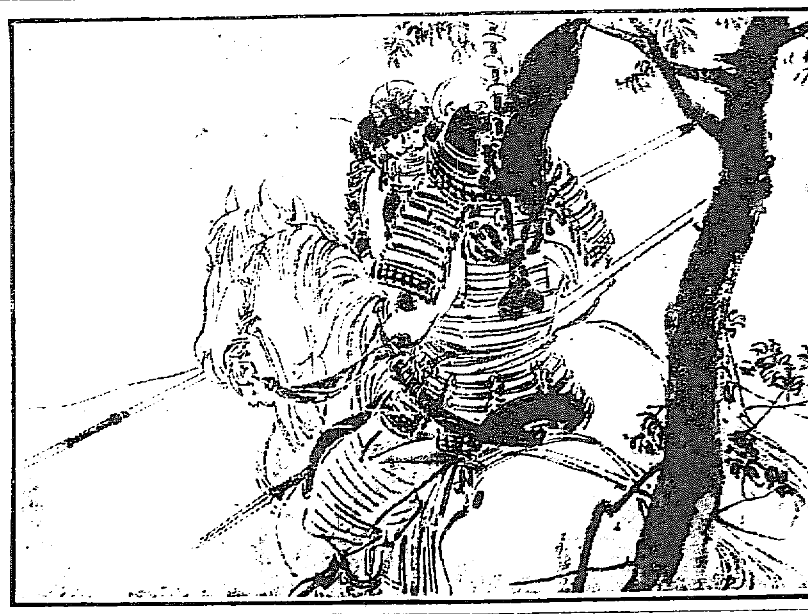
京城壽座前 電話二七一二
振替口座京城二三六七番
值段技術勉強 地方は送料頂きません

純粹 培養 ヨーグルト
模範 牛乳
太正塚肥醫獸土場
東亞牧場 京城南大門通四町 （電話二三八番）

千生瓢 (190)

須藤南翠作 筒井年峰畫

羽黒 一



小牧山には榊原小平太康政を留め置きて、急造の陣營を構へさせ、自身は清洲城の北半里ばかりの落合に本陣を据ゑ、詐りかへつて敵の寄するを待ち構へて居た。

池田勝入齋が聟、美濃の國金山の城主、森武藏守長可は、今年取て二十七歳、猛勇にして力飽まで強く、打物取つて向ふに前なき無雙の豪傑と稱へられ、鬼武藏、鬼武者と綽號んで、鬼武藏の驍名、敵味方に轟きわたり、この鐵騎の趣く所、千里獨行と稱せられてゐる。されば、此度遠江、駿河二箇國の所領を約して、上方勢に馳せ加はつてより、雄心勃々として禁じ難く、功名の念轄切なりし處に、岳父の勝入齋は、逸早く犬山城を攻め落して、直ちに清洲に肉迫すべき地歩を造り、無二の大功を奏したと聞き、長可今は髀肉の嘆に堪へず、何をがな一手柄して、天晴感賞に與からうと念つてゐた。

此時郡上の遠藤但馬守慶隆、犬山城に馳せ向ふと聞き

『やあ、者共急げ、遠藤如きに先を驅けられ、此武藏の武士が立たうか、衝破つて驅け通れ！』と焦燥に焦慮つて馳せ著けた。

遠藤慶隆も武略に於ては、容易く人に譲るべき侍ではなかつた。途中轡を駢べて馳せながら、兩將ともに胸に溢るゝ功名の念に驅られて、孰れからともなく、互ひに其所思を語り合つた。武藏守は鞍の前輪をはたはたと敲いて

『古兵ばかりが功名するものとは限らぬ。我等兩人勢を合せて、驅け向ふに於ては、敵の先手を討ち破つて、清洲に迫る事も至難しい仕事でおぢやない。一つ岳父殿の鼻の孔を明かしてくれ申さうよ』と勇氣勃々として打ち出した。

但馬守は年長じて三十五歳、稍や老成に近いた究竟の大將ではあるが、家聲を揚げる念慮に至つては、敢て長可に下らなかつた。

『さればおざる。入道殿が奇功を奏して、取り固めておざる犬山に入つて、櫓一つ預つたでは、我等が分は立ち申さぬぢや。申さるゝ通り、犬山へは使者を以て著到を屆けさせ、我々は彼の城よりずつと進んで、好き陣地を占め申さう。さすれば、自から先手を申し請ふに似て、聊か一分は立ち申すぢや』

『遠藤殿御思慮、この武藏と寸分差ひ申さぬ。我等常々清洲に往返して彼處の地の理は存し居る。犬山より一里進んで、羽黒の八幡林に打出て敵を一當て試み申さう。去りながら我等は入道が聟おざれば、一旦の入城は是非あるまい。此の儀御同意下されたい』

武藏守は流石に優しい事を言つた。但馬守は莞爾と笑つて

『愛せらるゝ御方の父君ぢや。一應機嫌を取結ばれい。我等も同國の好み、御附合の申すでおざる』と戯れて長可を揶揄つた。

兩將は其儘犬山城に入つて、早速軍議に携はつた。此時は纔に城を落したといふまでにて、守備の手配も十分でなかつた事故、長可は即時に細作を出して、敵の動靜を探らせた然るに其細作の歸り報ずるには、北畠、徳川の兩將、敵を待つべき陣所を檢分のため、朝早天城を出て、小牧ケ原あたりに來たるよしを報ずること、十人が十人一口であつた。

『一日の後れにて、小牧山を敵に渡すは、如何にしても殘念乍ら、清洲城を前に當て、此方よりの手入は能きぬ儀と諦めも致さうが、味方より人數を出して、近き村々を燒き立て燒き立て、敵の氣を挫く事、時に取つて究竟の策おざる』

長可は斯く献策して、十五日の燒き働きとなつたが、今にも合戰始らば、横さまに突いて入り、あはよくば清洲までも、惡ひ縋らうと思つたのに、勝入齋が空しく引揚げて來たのを見て、切齒して口惜しがつた。

『よし、其ならば、我等より陣を進めて、敵の膽玉を冷しくれるわ』と早速遠藤但馬守と勢を合せ、犬山より進み出で、羽黒八幡の森に陣を布き、斥候を出して東國方を誘き試みた。

◎二葉會第五回選句

無二庵帝史宗匠選

題 春淺し、鵜野、歸雁、東風、木の芽

去ぬ雁や明るき中の夜な北に　芯蕚 孫
苗子戸の露くもりなど春淺し　蟲 來
氷また嶺また解けず春淺し　蟲 羅
碧空に響くプロペラや東風風に　蓼 堂
我國の櫻も見ずに歸る雁　秋 石
春の香の汁にたゞよふ木の芽哉　蓼 堂
春淺し北漢山の月淡き　京 酒 屋
春淺し梅の蕾もまだかたき　蓼 堂
歸る雁に一曲寄せん想夫戀　京 酒 屋
治水工また成らざるに歸る雁　蕊 孫
吹けよ東風梅も出なさき初めん　京 酒 旨
進り火に燒飛び出す野燒哉　午 民
春淺し去年のまゝの嶺の山　午 孫
驛庭に春また淺き木立ち哉　蛙 民
水ばかり元の色なる燒野哉　午 民
吹く木の芽やがては若葉青葉哉　京 酒 屋
老木も春は忘れぬ木の芽かな　蕊 孫
歸る雁さ澤人の涙かな　野 山
哀れにも雉子啼なる燒野かな　午 民
柳風さ水轍よせす野燒哉　蓼 堂

秀逸

春淺しまだ蕪屋根の苗木畑　午 民
ゆらくと朝日の昇る木の芽哉　露 孫
古戰場の防ふかに雁の過ぎにけり　午 民
木の芽時宿痾に悩む遊女哉　午 民
野燒にも注意至れり防火線　京 酒 屋
東風吹くや戰く中にも糸柳　午 民
歸る雁や史蹟荒たる衣川　京 酒 屋

三光

さすらひの父母しのぶ夕歸雁哉　蓼 堂
東風うけて島かくれ行白帆かな　蓼 堂
鳥頬てさへ子を思ふ燒野かな　龍 峰

加

春風や櫻にばかり恨みなる　帝 史

新刊紹介

▲論理學 哲學叢書第四編にして速水文學士の著す所従來の所謂形式的論理學が形式に囚はれて思考の原理に疎なるの弊を脫し哲學研究の準備稽梯たらしむるを目的とせるものにして第一編原理論に於て思考の原理本質概念より判斷推理を說き第二編方法論に入りて因果關係にての歸納的方面を概括統計及蓋然論より論評し哲學に論及し附錄として演習問題を載せたり〔一圓二十錢東京市神田區南神保町一六岩波書店〕

▲歐洲政界奇談 倫敦タイムス三代の主筆に歷任して世界の新聞記者間のオーソリーチたるブローヰツテ氏の回想記を請賣と…[illegible]…(一圓東京市日本橋區本石町三丁目至誠堂書店)

▲世界動亂戰爭の奇劇 元露國ノーヴヱ…[illegible]

▲經世(九八)十三錢東京市牛込區矢來町一番經世社

▲銃獵界(二の四)十二錢横濱市本町二の二一全丸銃砲店

▲東華評論(一の三)十錢北京東城蘇米倉二六其社

▲婦人週報(二の一六)四錢五厘東京市牛込區市ケ谷田町二の一七其社

▲新農(二の四) …[illegible]

▲山東通信(四) …[illegible]

▲金星(四の四) 本號は之を經濟同盟號と稱す…[illegible]

◎理想的新化粧品 建築材料及一般輸入商として信用ある東京有樂町藤原商店は…[illegible]…ヱグロン化粧品…[illegible]

讀者の領分

黄金町の小ばけな下宿屋の爺は非常な無情者だとて近隣の大問題になつて居る産後の女の食具迄も取り上げた相な(近隣の總代)▲南大門外の成金が若は自動車で見上げたものだが深夜の事實は斷じて赦されない(管見生)▲此頃醫學校に助産婦の募集で醫院醫育課と大騷動が始まつた元來看護婦助産婦は醫院で養育するが當然だそれに無斷で醫育課で募集したと云ふのが問題で手間の起りである此の末は何うなるのかね(正義)▲人力車夫としての朝鮮人に就て僕は以前から研究して居たが日本人車夫の方より比較的從順で好いと思ふ諸君如何(一醫師)▲新設師團の兵隊が續々龍山驛に到著するに著し龍山人士の歡迎が冷淡の感あり内には寢衣の儘面白半分に二階から覗いて笑つて居る者さへあつた安著を祝した家は漢江通りに數軒しかなかつた(憤慨生)

(ミツワ文庫五•四)

盲人道を教ふ

座頭江戸より京への道をそらんず
蜘蛛々木偶の道を示せる古今の例

片岡仁左衛門談

昔江戸の才兵衛と云ふ人が京へ上らうと云ふことで初めての道のことでもありますので誰か善い連もなからうかと探して居りますと此事を座頭が聞きつけまして『私は此度官を取りますに就て京へ上りたいと思ひますから盲目のことで御迷惑でございませうが此も因縁ですから御同道が願ひ度い』と申しました才兵衛は之を聞きまして道を知つて居る連を欲しいとは思つたが盲目は却つて道の邪魔とは思ひましたが之も因縁と思ひまして道伴になつて品川に著きました處が河崎への駄賃を出します際に才兵衛が馬子と問答して高いの安いのと云つてきりがございません座頭は傍で此を聞いて居ましたが『無益の問答ですやございませんか河崎までの駄賃は定まつて居りますから私は代を渡して馬を定めました貴方も馬方の云ふ通り錢を渡して道を急ぎませう』と云ひますので才兵衛は盲目のくせに差出た眞似をすると思ひましてまだ『座頭で目が見えないのに京までの遠い處を私にも聞かないで渡しなさる樣ぢや困るぢやありませんか』と窘めますと座頭が聞きまして『私は始めての都上りですから江戸から京までの道の積りや馬次の在所をよく心得ました人に尋ねて能く覺えて居ります其上一里について代は十六文づゝの定りと云ふことは誰も知つたことでございます若し御存じなくばお數へ申しませう江戸から品川迄が二里それから川崎までが二里半それから神奈川までが二里程ケ谷までが一里半と諳々と京まで合計百二十里の道を數へ上げましたので才兵衛は『さてさて其方は盲目の身で感心に道を覺えなされたことだ』と云ひますと座頭が聞きまして『此上は京までの駄賃の差引は此盲目にお任せなさいまし』と云ふことに事を定めて遠い處を駄賃について小面倒の押問答もなく京まで無事に上りつきました目のある人が盲目に敎へられて都上りをした譯でございます才兵衛は此話を或老人に話しまして盲人が明眼に道を敎へることは世にも稀なことだと申しますと此老人が申しますには『愚かなことを云ひなさるものぢやない昔でも道を敎へたことがある吉備の眞備と云ふ人が遣唐使として支那へお出でになりました時に野馬臺の詩と云ふものを讀めと云つて出されて何處から讀んでいゝか分らずに困つて居りますと蜘蛛が絲を引いて道を敎へましたので讀むことが出來たと云ふ話でございます又木偶の人形が道を敎へた例もある支那の黄帝の

御宇に蚩尤と云ふ者が涿鹿山の坂泉と云ふ處で三年の間黄帝と戰つて此の蚩尤が最早亡びやうとします時に口から霧を吐きましたので天地が暗くなり東西も判らなくなりました黄帝は工夫を凝しまして風后と云ふ臣下に命じて指南車と云ふ車を作りました車の上には木偶があつて指で方角を指して敎へましたので黄帝の軍勢は暗い中にあつても方角が判然分りましたので終に蚩尤を亡ぼしたと云ふことである之はつまり木偶が道を敎へたものだ何事も只眼だけで見やうとするは愚である只一心の工夫にあることだ盲目は美しい色を見ず聲は面白い聲は聞かないが此は形にある片輪である形だけではなく心に智慧がなければ心も盲目同然のものである阿那律は眼が潰れてから三千世界を見ること掌の内を見る樣だつたと云ふことだと說法されて才兵衛只管恐れ入つて感服したと云ふことでございます此は誠に尤もなことで心が働かなければ眼があいて居ても節穴同然でございますから家庭をお持になつて家庭をよく治めやうとなさる方は何事にも心を働らかせることが肝要でございます洗身料にしましても小さいことのやうですがお一家の方がお子さん達までですつかりお用ゐになりますものですからその良し惡しで一家の皆さんの皮膚の衛生にも關係し經濟にも及ぶものですから理想の石鹸を選ばなければなりません專門家に伺ひますと不純な混合物のない遊離の脂肪と遊離のアルカリもない石鹸は化學上の純石鹸でありますが理想の石鹸と云ふ丈の物ですが上に原料にいゝ脂肪を用つて皮膚に適ふ樣に精製されたものでなければなりませんミツワ石鹸でございます使つて見ますと水にもよく溶け泡沫の立ちます具合が宜しくて此泡沫をお湯で濡れた皮膚へ塗りまして靜に掌で撫でますと汚垢は石鹸の作用で此の泡沫の中へ混りますから之をお湯で流しますとするりと氣持よく落ちて皮膚は清潔になり白粉ののります具合も他の石鹸を使つた時とはまるで比べものになりません

▲片岡我童曰く 髪油としましてはミツワ椿油に限ります…[illegible]…容めて見ますと皆昧のありませんことでございます…[illegible]…よくなり頭髪の艶が出て美しくなります

▲市川猿蔵曰く 暖かくなりますにつれて勤務や勞働なして疲れて頭が、鬱陶しくなつたり眠くなつたりいたします…ミツワ人參錠は…[illegible]…頭腦が明晰となつて快く執務が出來ます…[illegible]…血色なくよく疲勞を癒すのでございます

▲片岡千代之助曰く 此頃の暖かさには香水が宜しく時だから…[illegible]…よく身な見が身につき…お父さまからいひ聞された忘れない樣に使へとお…[illegible]…香水が芳香も六種もありますから名前のお好みで此中から好な芳香を選んで用ひますといつも自分の好な芳香と一所に步いてる譯でほんとに嬉しいことはありません

月やく

月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい早速御知らせ致します
東京神田鍋町三ノ一九 淺田けい子

●ね小便

又は小便近きにて御困りの方は二錢切手一枚封入御照會下さいきつと(ナヲル)養生法等御知らせ致します全治者より毎日禮狀がたくさんまゐります
東京市下谷區御徒士町一 神明堂

新刊書御案内

書名	著者	定價
滿洲寫眞帖	大阪朝日	一、〇〇
増補訂正二千五年史	竹越與三郎	特一、二〇
大正政局史論	徳富猪一郎	一、二〇
歐洲戰局の將來	山路愛山	一、五〇
全國優良青年美績	石田傳吉	五〇
新撰	逸見梅太郎	二、二〇
哲學概論	宮本和吉	二〇
各引策と商法	松本	五〇
不言不語	岩野泡鳴	五〇
茶話 心中	藤村	四〇
現代思想評釋	[illegible]	六五
想華及小品	[illegible]	五〇
ニコノく論語	[illegible]	七〇
脚本傑作集巻一	[illegible]	二〇
十人十色名物男	[illegible]	四〇
俳句集選論講義	[illegible]	一〇
新刷新美辭學	[illegible]	一〇
音引高引漢和新辭典	[illegible]	九〇
朝鮮語官話作文軌範	[illegible]	四〇
受驗者必携	[illegible]	
自動船	[illegible]	一、五〇
近世土木工學要覽	[illegible]	二、五〇
朝鮮衛生法規類集	[illegible]	八〇
朝鮮古蹟圖譜一、二	[illegible]	五、〇〇

大阪屋號書店

京城本町 電話二〇八六 振替京城二〇一七三番

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
三河丸 四月廿二日 正午出帆
相模丸 五月五日 正午出帆
高砂丸 五月十一日 正午出帆
仁川海岸町二丁目 電話十一番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○外國航路(浦塩航路を除く)乘車切符の時は五分引を以て東海道線の切符を發賣仕候

○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
×安東丸 四月廿六日
須磨丸 四月三十日 午後五時
×天智丸 五月二日
○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
信濃川丸 四月廿三日 後二時出
信濃川丸 五月十一日 後二時出
○鎭南浦、大連行
信濃川丸 四月廿四日 後二時出
×信濃川丸 五月六日
○大連直行
×福州丸 四月廿八日 正午出帆
×潮州丸 五月九日
△群山、木浦、梁山、神戸、大阪行
潮頭丸 四月廿四日 午後五時出
×群山、釜山、鎭海行
福州丸 四月廿四日
潮州丸 五月三日 午後二時出帆
○清津、浦潮行(元山出帆)
△宮島丸 四月廿九日 午後二時出帆
△平安丸 五月五日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
城津丸 四月廿三日 前十時出
湖北丸 五月四日

御注意
○鮮滿航路及南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り○印は本船川帆約一時間前無賃送迎
京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二一番 京城切符發賣所 國内通運會社支店

朝鮮郵船

京城本町 …[illegible]… 松原運送店

全羅丸 五月二日
京畿丸 四月廿二日
咸鏡丸 四月廿六日
成鏡丸 五月六日 釜山發
慶尚 …[illegible]…
昌平丸 四月廿三日
鏡城丸 五月一日 元山發
忠清丸 四月廿八日
平壤丸 五月八日 元山發
永興丸 毎月廿八日 元山發
北久味 …[illegible]…
富徳丸 四月廿五日 釜山發
江陵丸 毎日 (釜山浦項)
義州丸 …[illegible]…
三浦丸 四月廿三日 釜山發
海州丸
巨濟丸 毎 釜山發
杭州丸 …[illegible]…
順天丸 三日目毎 木浦發
慶興丸 四月廿二日 木浦發
公州丸 四月廿九日 木浦發
宗信丸 四月廿六日 仁川發
江原丸 四月廿八日 仁川發
龍水丸 五月一日 仁川發
晋州丸 …[illegible]… 仁川發
錦江丸 毎日午前 仁川發
南陽丸
平安丸 四月廿四日 群山發
四月廿九日 若松發

共同汽船仁川出帆

阿波國共同汽船株式會社

第六共同丸 四月 日 後二時入 正午出帆
○城津、清津、浦潮行(元山出帆)
第一阪鶴丸 月 日 後九時 出港
三西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日 前入時 出帆

仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

尼崎汽船仁川出帆

○群山木浦釜山下關神戸大阪行
大正丸 四月廿六日
大有丸 四月廿一日
神代丸 四月三十日
吉秀丸 …[illegible]…
君が代丸 …[illegible]…
仁川港 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 四月 日後五時出帆
○元山、清津浦潮行 月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 月 日後五時出帆
○九山、城津、浦潮行 月 日後五時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 四月廿六日後十時出帆
第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 四月 日後六時出帆
第三琴平丸
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天興丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆

商況

東京期米

大阪期米特電(廿一日)

後場 前限寄付十三圓七十九錢 △中限寄付十四圓十八錢 △先限寄付十四圓六十六錢

仁川米豆取引所

一三、八七 一三、九三

▲後場遂に爆發す 前場先大阪の高寄を受けて十一圓三十五錢と寄付…[illegible]…

據(商)安値 十一圓五十錢 十一圓三十四錢 出來高 三萬九千七百石

◎財部司令官歸任 旅順要港部司令官…[illegible]…と言ひ渡されたるより大に驚…[illegible]…同日午後五時頃自家に…[illegible]…